

# 作新学院大学における学び

(履修要項 別冊)

作新学院大学



# 目 次

1	作新学院大学で学ぶ みなさんへ（序文）	1
2	作新学院大学の教育理念（建学の精神）	1
3	作新学院大学の教育目的（作新学院大学学則第1条）	2
4	作新学院大学の三つのポリシー（方針）について	3
5	作新学院大学のアセスメント・ポリシー（評価指標や調査方法）	4
6	経営学部経営学科の学び	8
(1)	ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	8
(2)	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	8
(3)	アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	9
(4)	カリキュラム・ツリー	11
(5)	ナンバリングと学修成果マトリックス（カリキュラム・マップ）	15
(6)	学修成果マトリックスについて ナンバリング・学修成果マトリックス〈付〉ナンバリングの概要（見方）について	19
(7)	適正な成績管理 評価ルーブリックについて	21
(8)	GPA の算出と活用 GPA の分布/GPA の分布（前年度データ）	23
(9)	学修成果の可視化 ディプロマ・サブプリメントについて	24
7	経営学部スポーツマネジメント学科の学び	28
(1)	ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	28
(2)	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	28
(3)	アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	29
(4)	カリキュラム・ツリー	31
(5)	ナンバリングと学修成果マトリックス（カリキュラム・マップ）	35
(6)	学修成果マトリックスについて ナンバリング・学修成果マトリックス〈付〉ナンバリングの概要（見方）について	39
(7)	適正な成績管理 評価ルーブリックについて	41
(8)	GPA の算出と活用 GPA の分布/GPA の分布（前年度データ）	43
(9)	学修成果の可視化 ディプロマ・サブプリメントについて	44

8	人間文化学部発達教育学科の学び	48
(1)	ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	48
(2)	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	48
(3)	アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	49
(4)	カリキュラム・ツリー	51
(5)	ナンバリングと学修成果マトリックス（カリキュラム・マップ）	55
(6)	学修成果マトリックスについて ナンバリング・学修成果マトリックス〈付〉ナンバリングの概要（見方）について	59
(7)	適正な成績管理 評価ルーブリックについて	61
(8)	GPAの算出と活用 GPAの分布/GPAの分布（前年度データ）	63
(9)	学修成果の可視化 ディプロマ・サプリメントについて	64
9	人間文化学部心理コミュニケーション学科の学び	68
(1)	ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	68
(2)	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	68
(3)	アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	69
(4)	カリキュラム・ツリー	71
(5)	ナンバリングと学修成果マトリックス（カリキュラム・マップ）	75
(6)	学修成果マトリックスについて ナンバリング・学修成果マトリックス〈付〉ナンバリングの概要（見方）について	79
(7)	適正な成績管理 評価ルーブリックについて	81
(8)	GPAの算出と活用 GPAの分布/GPAの分布（前年度データ）	83
(9)	学修成果の可視化 ディプロマ・サプリメントについて	84
10	資料編 学則 履修規程 その他の資料	88
	<b>【QRコード】</b>	
(1)	大学学則	
(2)	経営学部履修規程 〈経営学部履修規程（別表）〉	
(3)	人間文化学部履修規程 〈人間文化学部履修規程（別表）〉	



# 作新学院大学で学ぶ みなさんへ

## ■ 1 作新学院大学で学ぶ みなさんへ（序文）

作新学院大学で学ぶみなさんへ

作新学院大学 学長 渡邊 弘

作新学院大学は、経営学部（経営学科・スポーツマネジメント学科）と人間文化学部（発達教育学科・心理コミュニケーション学科）の2学部4学科と大学院の経営学研究科と心理学研究科の2つの研究科で構成されています。本学の卒業生・修了生の多くが、会社員、公務員、銀行員、教員、臨床心理士、公認心理師として地域の成長や発展を支える大切な仕事を担っています。

私たち作新学院大学の教職員は、本学に入学した学生が、「作新民」という建学の精神を基盤として、基礎的教養や専門的知識の修得、さらには免許・資格を取得することにより、創造性豊かで主体的な自立（自律）した人間（社会人）になれるよう一丸となって日々努めています。学生のみなさん一人一人の夢の実現に向けて、作新学院大学は全力で応援します。

この「作新学院大学における学び」は、みなさんが、学びの仕組みと学修成果を容易に理解できるようにする目的で作成されたものです。「履修要項」と共に、履修登録や成績交付の際には必ず見直し、みなさんの履修計画の立案や学修成果の確認に活用してください。

## ■ 2 作新学院大学の教育理念（建学の精神）

「作新民」の理念と「自学・自習」「自主・自律」の精神に基づく教育を实践

作新学院は1885年（明治18年）、船田兵吾によって「私立下野英学校」として創立され、今日まで136年の歴史を刻んできました。

「作新」とは中国の古典『大学』にある一節に由来する言葉です。

作新学院は「作新民」の理念とともに教育方針として「自学・自習」「自主・自律」をかかげて新しい人材の育成に努めてきました。

そしてこれらの理念と教育方針は、1世紀を経て今日の作新学院大学に脈々と受け継がれています。

本学は、この「作新民」を建学の精神として「時代の変化にきちんと対応し、自らを常に新しくできる人材を育てること」を教育目標にかかげ、学生が若さと活力を発揮し明るく学ぶ大学づくりを目指しています。

### ■ 3 作新学院大学の教育目的（作新学院大学学則第 1 条）

作新学院大学の教育目標（作新学院大学学則第 1 条抜粋）

（目的）

第 1 条 本学は、教育基本法（昭和 22 年法律第 25 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に則り、時代の変化に対応して自らを常に新たにする能動的人間の育成を目指す「作新民」を建学の精神とし、組織と人間に関する幅広い教養と実践的な専門性を授け、もって持続可能な社会の創造に挑戦し、未来を切り拓く人材を育成することを目的とする。

2 第 5 条の規定より設置する学部・学科の教育研究上の目的は、次の各号に定めるとおりとする。

#### (1) 経営学部経営学科

経営学部経営学科は、経営資源（人・モノ・カネ・情報）のマネジメント及び研究開発・生産・販売・マーケティング等の経営プロセスを実践的に理解するとともに、幅広い見識とグローバルな視点から、各方面と協働し、イノベーションを起こして新たな価値を創出する共創力を発揮し、もって地域社会を支えうる人材を育成することを目的とする。

#### (2) 経営学部スポーツマネジメント学科

経営学部スポーツマネジメント学科は、スポーツを自ら体験しつつ、スポーツを「する (play)」、「みる (watch) 」だけでなく、スポーツを「支える (support&management) 」視点に立って事業としても持続可能となるスポーツの振興及びスポーツビジネスをマネジメントし、もって地域の活性化に寄与できる人材を育成することを目的とする。

#### (3) 人間文化学部発達教育学科

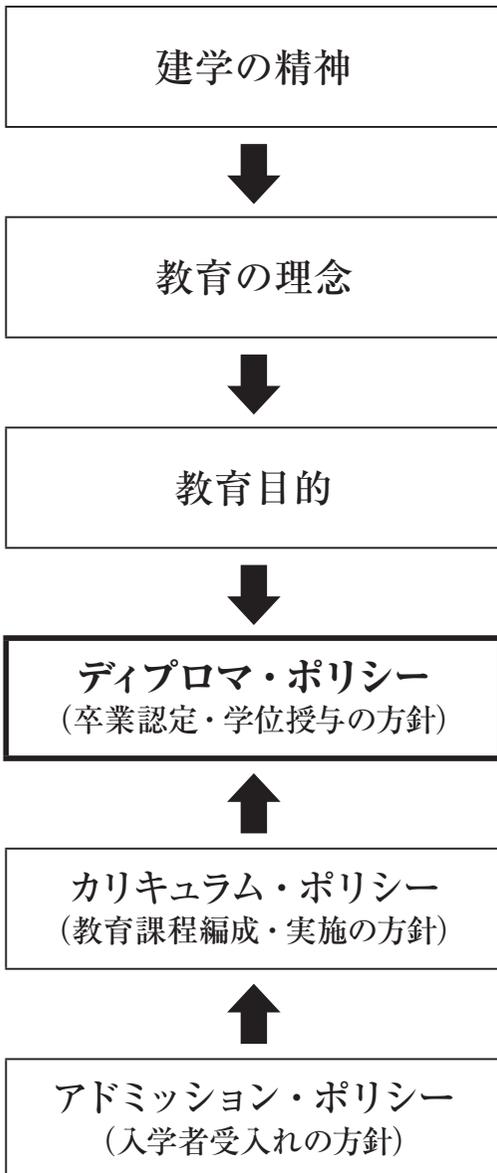
人間文化学部発達教育学科は、小学校教員養成を主たる目的とし、さらに小学校教諭一種免許を基礎免許とした、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状、または小学校教諭一種免許状と中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）を取得し、もって地域社会の初等教育・特別支援教育・中等教育に貢献する人材を育成することを目的とする。

#### (4) 人間文化学部心理コミュニケーション学科

人間文化学部心理コミュニケーション学科は、臨床心理士および公認心理師等の心理職養成に関連した学問領域を修め、さらに心理学と、コミュニケーションツールとしての「社会学・言語文化」を修得し、もって地域のソーシャルサービスを担える人材を育成することを目的とする。

#### ■ 4 作新学院大学の三つのポリシー（方針）について

作新学院大学の教育体系



## ■ 5 作新学院大学のアセスメント・ポリシー（評価指標や調査方法）

### 作新学院大学のアセスメント・ポリシー（評価指標や調査方法）

作新学院大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに即して、学生の学修成果を評価するためのアセスメント・ポリシーを定めています。本学のアセスメント・ポリシーは、機関レベル、教育課程レベル、授業科目レベルの3つのレベルにおいて、学生の入学時、在学時、卒業時の各段階における評価指標や調査方法を整理・配置しています。

#### 1) 機関レベル（大学全体レベル）

学生の志望進路へ向けての各種指標・調査（就職率、資格取得、卒業時アンケート調査など）により、学修成果の達成状況を測る。

#### 2) 教育課程レベル（学部レベル）

学部・学科の教育課程における学修状況の各種指標・調査（修得単位数、資格取得状況、GPA、退学率、学生生活アンケート調査など）により、学修成果の達成状況を測る。

#### 3) 授業科目レベル（各科目レベル）

シラバスで提示された授業科目の学修目標に対する教科指標・調査（成績評価、学生授業アンケートなど）により、各科目レベルでの学修成果の達成状況を測る。

#### 4) レベル・段階における評価指標と調査方法

	入学時 (アドミッション・ ポリシーを満たす 人材かどうか)	在学時 (カリキュラム・ポリシ ーに則って学修が進めら れているかの評価)	卒業時 (ディプロマ・ポリシ ーを満たす人材になっ たかどうかの検証)
機関レベル (大学全体レベル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学試験</li> <li>入学生アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修得単位数</li> <li>GPA</li> <li>学生生活アンケート (満足度調査)</li> <li>退学率、休学率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学位授与数</li> <li>資格取得</li> <li>就職率、進学率</li> <li>卒業時アンケート調査</li> <li>卒業生アンケート調査</li> </ul>
教育課程レベル (学部レベル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学試験</li> <li>入学生アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>修得単位数</li> <li>GPA</li> <li>資格取得</li> <li>学生生活アンケート (学修行動調査)</li> <li>退学率、休学率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学位授与数</li> <li>資格取得</li> <li>就職率、進学率</li> <li>卒業時アンケート調査</li> <li>卒業生アンケート調査</li> </ul>
授業科目レベル (各科目レベル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学前学修</li> <li>国語基礎力調査</li> <li>プレイスメントテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価</li> <li>学生授業評価アンケ ート調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得</li> <li>卒業時アンケート調査</li> </ul>



# 経営学部経営学科の学び



## ■ 6 経営学部経営学科の学び

### (1) 経営学科：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

経営学部経営学科は、自ら学び、自主的に自らを律して行動できる人材を育成することを教育理念としている。その実現に向け以下の能力を身につけ、「共通教育科目」及び「専門教育科目」に関する単位を修得した学生には、卒業を認定し、学士(経営学)の学位を与える。

また、免許や資格の取得を希望する学生には、高等学校教諭一種免許状(商業)、日商簿記検定、全経簿記検定、ITパスポート、基本情報技術者、公認会計士、税理士などの取得を積極的に支援する。

1. 建学の精神である「作新民」と教育理念である「自学自習」・「自主自律」の双方を理解し、かつ実践できる。
2. 「共通教育科目」と経営学部及び経営学科に配置の「専門教育科目」をバランス良く学修して、現代社会で通用する専門的な知識を身につけている。
3. 経営・会計・情報に関する体系的な学修を自らの力で設計・履修し、所定の単位を修得できている。
4. 情報や知識を複眼的、論理的に分析し、自分の意見や研究成果を口頭や文章で的確に表現できるコミュニケーション・スキルを身につけている。
5. 一般企業(金融業・製造業・サービス業・金融機関・証券会社・会計事務所・観光産業など)の社員、公務員(一般行政職・警察官・消防士等)、教員、NPO職員などとして、現代社会の発展に貢献できる能力と信頼される人格を身につけている。
6. 地域社会が抱える課題に向けて主体的に取り組むことができる。

### (2) 経営学科：カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 経営学部経営学科は、建学の精神と教育理念に基づく学部の教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成する。
2. 経営・会計・情報分野を基軸とし、「共通教育科目」(「初年次教育科目」「リテラシー教育科目」「キャリア教育科目」「教養教育科目」と経営学部及び経営学科に配置の「専門教育科目」(「学部共通科目」「学科共通科目」「分野別科目(ビジネスマネジメント分野、会計・情報マネジメント分野、コミュニティマネジメント分野)」「研究ゼミナール))をバランス良く学修することで、現代社会で通用する専門的な知識を身につけられる教育課程を設定する。
3. 経営に関する体系的な学修を学生が自らの力で設計・履修できるよう、授業の到達目標及びテーマ、準備学修、授業の概要及び授業計画、成績評価法等をシラバスの中に明示する。
4. アクティブラーニングの効果を高めるために、少人数制の授業や演習・ゼミナールを重視する。特にゼミナール(基礎ゼミナール 1・2 と研究ゼミナール 1~6)は、1年生から4年生まで必修とし、担当教員が適切に指導する。
5. 演習担当教員は、クラス担任として学生一人一人と向き合い、学生の学修状況や生活状況、キャリアプラン等を把握して、適切な指導・助言を行い、現代社会の発展に貢献できる能力と信頼される人格を身に

つけさせる。

6. 教育課程の編成にあたっては、学生一人一人に対して4年間で履修する科目を通して獲得すべき能力をシラバスに具体的に示し、実社会における課題発見や課題解決につながる能力の獲得を保証する。特に地域社会がかかえる問題解決に役立つ実践的な知識や能力の獲得を保証する。
7. 留学生を積極的に受け入れ、「共通教育科目」と経営学部及び経営学科に配置の「専門教育科目」との学修を通して日本語運用能力の向上と、異文化理解が進むよう支援する。また日本人学生が国際的な感覚を養う手助けとして交換留学制度を活用する。
8. 学修を円滑に進めるべく、「カリキュラム・ツリー」や「カリキュラム・マップ」を導入し、学びの可視化を図る。
9. アクティブラーニングを支える諸施設(ラーニングコモンズや図書館、情報センターなど)を有効活用できるように、基礎ゼミナールや各学年で開講される研究ゼミナールにおいてその利用方法についての指導を実施する。

### (3) 経営学科：アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

経営学部経営学科は、入学者として以下のような人を求めている。

企業の経営や会社の仕組み及びその活動を支える会計やコンピューターに興味・関心を持ち、高等学校等において身につけた基礎的な知識や技能、思考力、表現力、主体性、協働性を、大学4年間の学修を通して、教員、NPO 職員、一般企業、公務員などとして就業・活動できる水準にまで向上させようという意志を持っている人。

#### 【大学入学までに身につけておくべき主な科目の内容】

高等学校における基礎的な学力・実技能力、又は、得意分野に関する優れた学力・実績を身につけていること。

##### 【国語】

基礎的な国語の知識や読解力、特に現代文の確かな知識。口頭や文章でコミュニケーションをとるための思考力・表現力

##### 【外国語(英語)】

基礎的な英語力

##### 【地理歴史】

基礎的な世界史・日本史・地理の知識

##### 【公民】

基礎的な現代社会・倫理・政治経済の知識

##### 【数学】

基礎的な数学の知識

**【専門学科(専門高校)】**

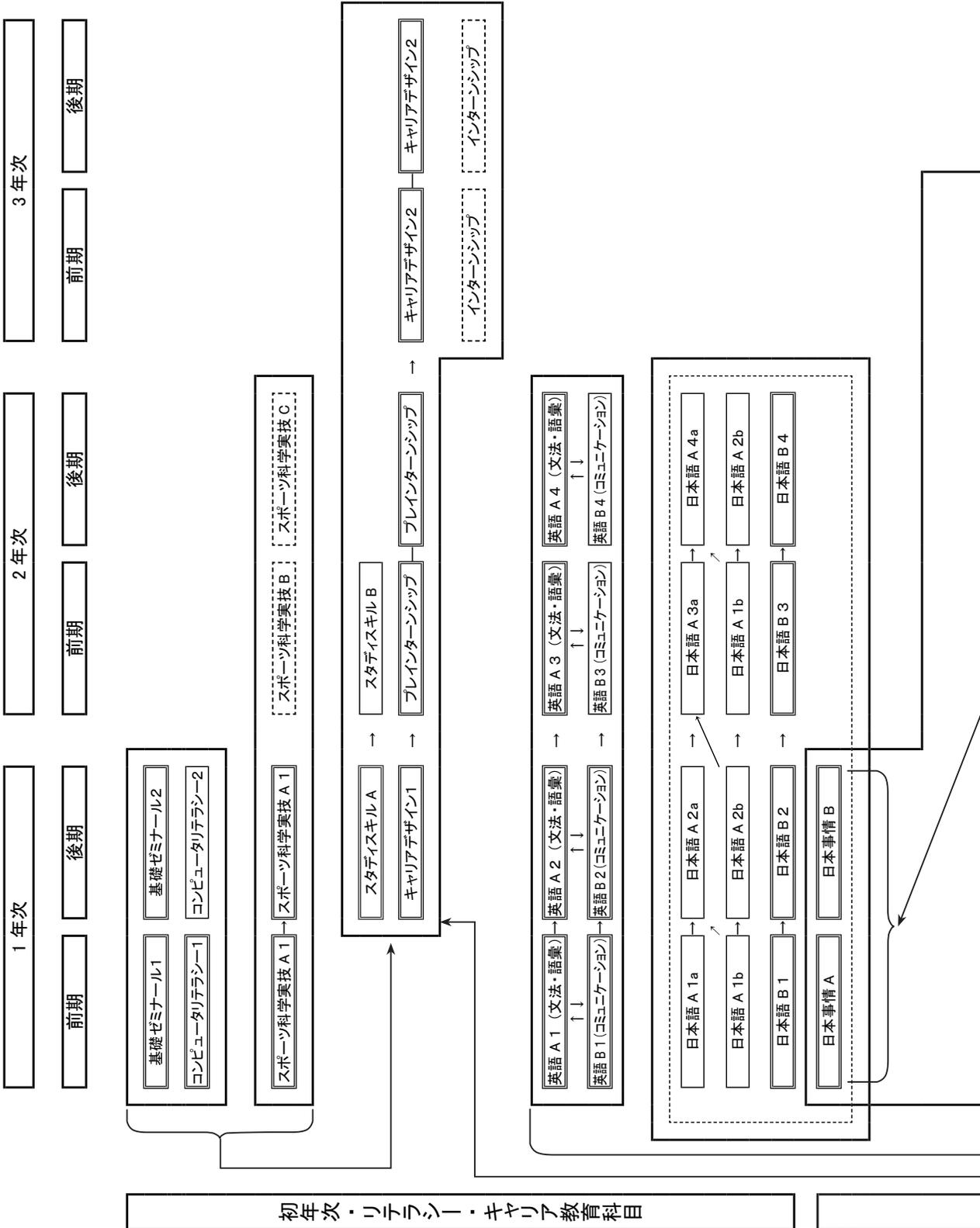
得意分野に関する優れた学力・実績

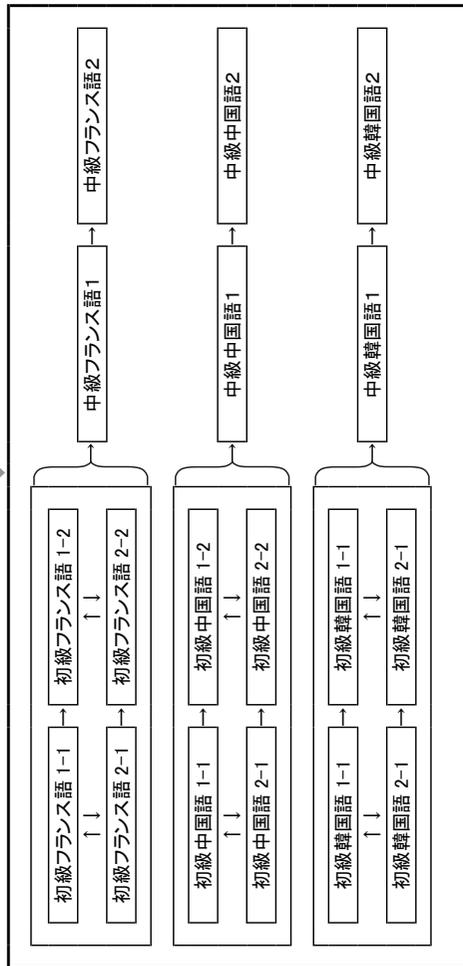
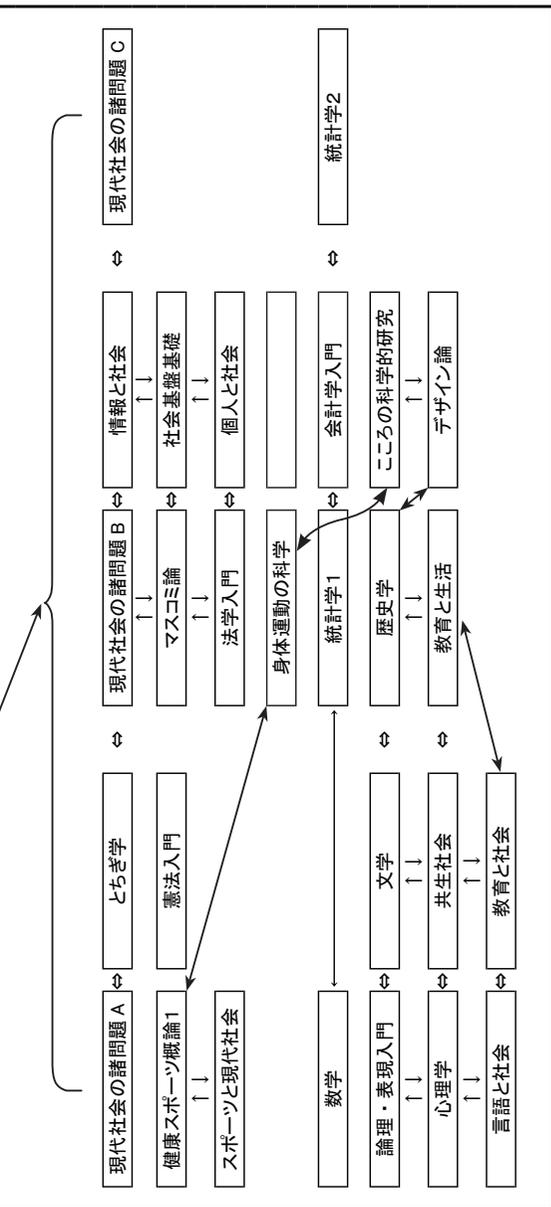
**【総合学科】**

得意分野に関する優れた学力・実績

(4) 経営学科：カリキュラム・ツリー

共通教育科目カリキュラム・ツリー

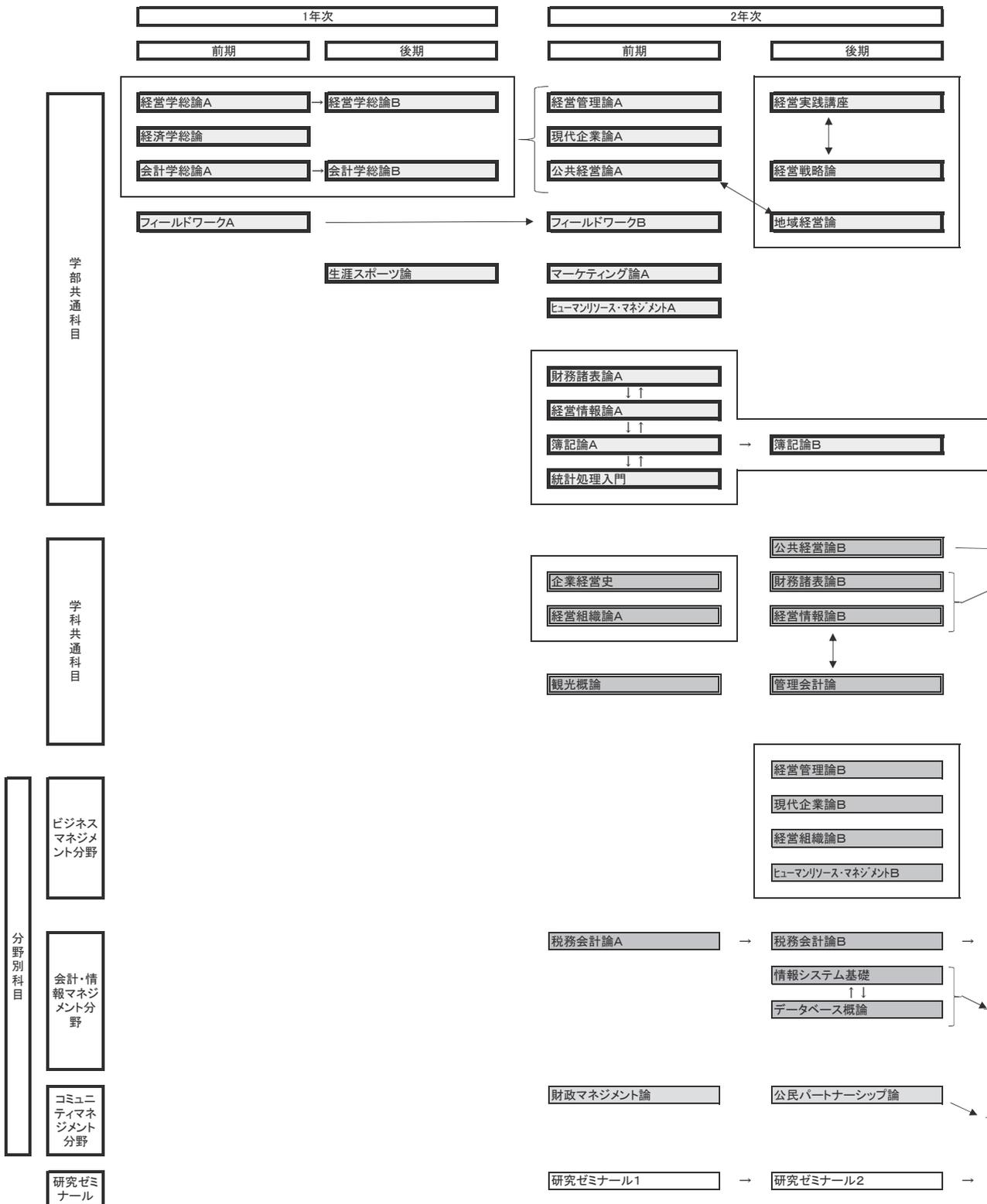




自主科目 A～F (1～4 どの学年でも半期の履修が可能)

海外研修 A～D (1～4 どの学年でも後期に条件が整っていた場合にのみ履修が可能)

経営学科専門科目カリキュラム・ツリー





(5) 経営学科：ナンバリングと学修成果マトリックス（カリキュラム・マップ）

共通教育科目マトリックス（カリキュラム・マップ）

		1年次											
		前期						後期					
		No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果			
1	2			3	4	1	2			3	4		
初期導入・リテラシー教育科目	留学生	ZA-ILB-11 1	基礎ゼミナール1	◎	◎	◎	◎	ZA-ILB-11 2	基礎ゼミナール2	◎	◎	◎	◎
		ZA-ILI-11 1	コンピュータリテラシー1	○	○	◎	○	ZA-ILI-21 1	コンピュータリテラシー2	○	○	◎	○
		ZA-ILS-11 1	スポーツ科学実技A1	○	○	○	○	ZA-ILS-11 2	スポーツ科学実技A2	○	○	○	○
								ZA-ILC-11 1	スタディスキルA	◎	○	◎	○
								ZA-ILC-11 2	キャリアデザイン1	◎	○	◎	◎
		ZA-ILE-11 1	英語A1(文法・語彙)	◎	○	◎	◎	ZA-ILE-11 3	英語A2(文法・語彙)	◎	○	◎	○
		ZA-ILE-11 2	英語B1(コミュニケーション)	◎	○	◎	○	ZA-ILE-11 4	英語B2(コミュニケーション)	◎	○	◎	○
教養教育科目		ZA-ILF-31 1a	日本語A1a	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2a	日本語A2a	◎	○	◎	○
		ZA-ILF-31 1b	日本語A1b	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2b	日本語A2b	◎	○	◎	○
		ZA-ILF-11 1	日本語B1	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2	日本語B2	◎	○	◎	○
		ZA-LAJ-21 1	日本事情A(留学生必修)	○	◎	○	○	ZA-LAJ-21-2	日本事情B(留学生必修)	○	◎	○	○
		ZA-LAA-21 24	現代社会の諸問題A	○	◎	○	◎	ZA-LAA-21 25	現代社会の諸問題B	○	◎	○	◎
		ZA-LAA-21 13	健康スポーツ概論	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 9	憲法入門	○	◎	○	○
		ZA-LAA-21 4	数学	○	◎	◎	○	ZA-LAA-21 3	歴史学	○	◎	○	○
		ZA-LAA-21 1	論理・表現入門	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 7	文学	○	◎	○	○
		ZA-LAA-21 2	心理学	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 18	共生社会	○	◎	○	○
		ZA-LAA-21 20	言語と社会	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 21	教育と社会	○	◎	○	○
		ZA-LAA-21 16	スポーツと現代社会	○	◎	○	○						
		ZA-LLF-21 1	初級フランス語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 3	初級フランス語1-2	◎	○	◎	○
		ZA-LLF-21 2	初級フランス語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 4	初級フランス語2-2	◎	○	◎	○
		ZA-LLC-21 1	初級中国語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 3	初級中国語1ー2	◎	○	◎	○
		ZA-LLC-21 2	初級中国語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 4	初級中国語2ー2	◎	○	◎	○
		ZA-LLK-21 1	初級韓国語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 3	初級韓国語1ー2	◎	○	◎	○
		ZA-LLK-21 2	初級韓国語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 4	初級韓国語2ー2	◎	○	◎	○
		ZA-LAI-21 F1	自主科目A※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F4	海外研修A※	◎	○	◎	○
ZA-LAI-22 F2	自主科目B※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F5	海外研修B※	◎	○	◎	○		
ZA-LAI-23 F3	自主科目C※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F6	海外研修C※	◎	○	◎	○		
ZA-LAI-23 F8	自主科目D※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F7	海外研修D※	◎	○	◎	○		
ZA-LAI-23 F9	自主科目E※	◎	○	◎	○								
ZA-LAI-23 F10	自主科目F※	◎	○	◎	○								

		3年次											
		前期						後期					
		No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果			
1	2			3	4	1	2			3	4		
初・リ科目	教養教育科目	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎
		ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎	ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎
		ZA-LAA-21 6	統計学2	◎	○	◎	◎						
		ZA-LAA-21 26	現代社会の諸問題C	○	◎	○	◎						







(6) 経営学科：学修成果マトリックスについて

【ナンバリング・学修成果マトリックス〈付〉ナンバリングの概要（見方）について】  
ナンバリングの概要（見方）について

●開講科目 ナンバリングコード 凡例

A B - CDE - 12 3

① ② ③ ④ ⑤ ※⑤については二けた数字になる場合もある

コードの意味：

①授業開設単位 ← 学部 経営B 人文H 全学共通教育科目Z

②学科 ← 経営B スポーツマネジメントS / 発達教育D 心理コミュニケーションP

③学問分野 例 学部共通BA/HA 学科共通BBA

④性格・レベル 性格 必修1・選択2・選択必修3 レベルは標準履修開始年次

⑤分類番号 ← (便宜的に) 推奨履修順

●経営学部 ナンバリング コード例

経営学科

BB-BAL-111 例 学部共通 経営学総論A 必修 1年 1

BB-BAL-311 例 学部共通 生涯スポーツ論 選択必修 1年 1

BB-BBA-221 例 学科共通 企業経営史 選択 2年 1

BB-BBM-221 例 ビジネスマネジメント分野 経営管理論B 選択 2年 1

BB-BFI-231 例 会計・情報マネジメント分野 税法 選択 3年 1

BB-BCM-111 例 コミュニティマネジメント分野 地域福祉論 3年 1

BB-BRS-121 例 研究ゼミナール 研究ゼミナール1 必修 2年 1

スポーツマネジメント学科

BS-BAL-111 例 学部共通 経営学総論A 必修 1年 1

BS-SSM-111 例 スポーツマネジメント科目 スポーツマネジメント論 必修 1年 1

BS-SSM-231 例 スポーツマネジメント科目 スポーツ施設管理 選択 3年 1

BS-SRS-121 例 研究ゼミナール 研究ゼミナール1 必修 2年 1

BS-SOP-221 例 卒業所要単位外科目 測定評価実習 選択 2年 1

●人間文化学部 ナンバリング コード例

HD-HAL-121 例 学部共通 専門演習A 必修 2年 1

HP-HAL-131 例 学部共通 専門演習C 必修 3年 1

HD-DEL-111 例 発達 初等教育専門科目 教職論(小・中・高) 必修 1年 1

HD-DSE-221 例 発達 特別支援教育専門科目 知的障害児・者心理学 選択 2年 1

HD-DHI-111 例 発達 中等教育専門科目 日本語学概論A 必修 1年 1

HD-DJH-241 例 発達 中等教育専門科目 中学校教育実習 選択 4年 1

※DJHコードは実質1科目しかない。

HP-HPP-111 例 心理コミュ 心理学系科目 心理学概論 必修 1年 1

HP-HPC-211 例 心理コミュ コミュニケーション系科目 日本語学概論 選択

●共通教育科目 ナンバリング コード例

ZA=全学共通教育科目

IL 初年次・リテラシー・キャリア教育科目

ILB 初年次教育科目 例 基礎ゼミナール1-1 ZA-ILB-111 Basic

ILE リテラシー教育科目 例 英語A1 ZA-ILE-111 Englishi

ILF リテラシー教育科目 例 日本語A1※ ZA-ILF-111 Foreign student

ILI リテラシー教育科目 例 コンピュータリテラシー1 ZA-ILI-111 ICT

ILS リテラシー教育科目 例 スポーツ科学実技A1 ZA-ILS-111 Sports

ILC キャリア教育科目 例 スタディスキルA ZA-ILC-111 Career

LA 教養教育科目

LAA 教養教育科目 例 心理学 ZA-LAA-212 Liberal arts all

LAJ 教養教育科目 例 日本事情A ZA-LAJ-211 Japan

LLF 教養教育科目 例 第二外国語 初級フランス語1-1 ZA-LLF-211 French

LLC 教養教育科目 例 第二外国語 初級中国語1-1 ZA-LLC-211 Chinese

LLK 教養教育科目 例 第二外国語 初級韓国語1-1 ZA-LLK-211 Korea

LAI 教養教育科目 例 自主科目・海外研修/自主科目A ZA-LAI-211 independent

BBT 経営学部経営学科商業免許関連科目 T=teacher

例 教職論(商) BB-BBT-111

教職実践研究(商) BB-BBT-231

(7) 経営学科：適正な成績管理

【評価ルーブリックについて】

経営学科 ディプロマポリシー ルーブリック		
	優秀 (excellent)	平均 (average)
ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の修得	履修単位数の上限（22単位）の9割以上を履修し単位取得している。	履修単位数の上限（22単位）の8割以上を履修し単位取得している。
ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の修得	分野別科目を学修の中軸とし、経営学に関する学部・学科共通科目を幅広く履修し、簿記・会計・経営情報に関する複数の免許・資格を取得している。	分野別科目を学修の中軸とし、経営学に関する学部・学科共通科目を幅広く履修している。
ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の修得	基礎ゼミ・専門ゼミ（専門演習）・卒業論文（卒業研究）の成績が平均して「優」（GP3）以上。	基礎ゼミ・専門ゼミ（専門演習）・卒業論文（卒業研究）の成績が平均して「良」（GP2）以上。
ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得	卒業後の進路（就労・進学など）が決定している。累積GPA3.0以上。	卒業後の進路（就労・進学など）が決定している。累積GPA1.5以上3.0未満。

途上 (developing)	未達 (unachieved)
履修単位数の上限 (22単位) の7割以上を履修し単位取得している。	履修単位数の上限 (22単位) の7割未満しか単位取得できていない。
分野別科目を学修の中軸とし、経営学に関する学部・学科共通科目を最低限履修している。	経営学に関わる科目の履修が不十分。
基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績が平均して「可」から「良」 (GP 1～2) 。	基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績に「可」「不可」が多い。
卒業後の進路 (就労・進路など) を模索中。累積GPA1.0以上3.0未満。	卒業に至らず。累積GPA1.0未満。

## (8) 経営学科：GPA の算出と活用

成績表に表示されている GPA の見方について

作新学院大学では、成績表に GPA (Grade Point Average) の表示をしています。これは、学生一人ひとりの成績を以下に示す規則に沿ってスコア化するものです。本学ではこのスコアを履修指導の資料のほか、成績優秀者の表彰などの資料として利用しています。

### GPA 制度

GPA は次のようにして求めます。

最初に、下の表に従って、各科目の成績に応じたグレードポイント (Grade Point : 以下「GP」という) を出します。

成績	GP
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可 (無資格・試験欠席を含む)	0

そして、各科目の単位数を掛けて足した合計点を履修登録単位の総数で割ったものが GPA です。具体的には、下のようになります。

【例】	授業科目	(単位数)	評価	GP	単位	ポイント数
	基礎ゼミナール1	(2単位)	優	3	× 2	= 6
	英語 A1	(1単位)	良	2	× 1	= 2
	英語 B1	(1単位)	秀	4	× 1	= 4
	コンピュータリテラシー1	(2単位)	不可	0	× 2	= 0
	合計	6単位 <sup>①</sup>				12

$$\text{GPA} = \text{②} \div \text{①} = 12 \div 6 = \underline{2.0}$$

したがって、履修した全ての科目が「秀」の人の GPA は 4 ですし、履修した全ての科目が「不可」だった場合の GPA は 0 です。なお、GPA には平均をとる期間により、「学期 GPA」(当該学期の成績で計算した GPA)、「通算 GPA」(当該学期までの全成績で計算した GPA) の 2 種類があります。また、「不可」も GP=0 として算入されることに注意してください。

## 【GPA の分布/GPA の分布（前年度データ）】

ホームページに GPA の分布が掲載されています

<https://www.sakushin-u.ac.jp/disclosure/page.php?id=577>

本学 HP トップページ > 情報公開 > 教育情報の公表（大学） > ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること（第6号関係） > GPA の分布



(9) 経営学科：学修成果の可視化

## 【ディプロマサプリメントについて】

ディプロマ・サプリメントとは

ディプロマ・サプリメントとは、個々の学生が卒業段階で身につけた学位・資格等の学修内容について証明される学位証明書補助資料のことである。



# 経営学部スポーツマネジメント学科の学び



## ■ 7 経営学部スポーツマネジメント学科の学び

### (1) スポーツマネジメント学科：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

経営学部スポーツマネジメント学科は、自ら学び、自主的に自らを律して行動できる人材を育成することを教育理念としている。その実現に向け以下の能力を身につけ、「共通教育科目」及び「専門教育科目」に関する単位を修得した学生には、卒業を認定し、学士（経営学）の学位を与える。

また、資格の取得を希望する学生には、コーチングアシスタント、健康運動実践指導者、健康運動指導士などの取得を積極的に支援する。

1. 建学の精神である「作新民」と教育理念である「自学自習」・「自主自律」の双方を理解し、かつ実践できる。
2. 「共通教育科目」と経営学部及びスポーツマネジメント学科に配置の「専門教育科目」をバランス良く学修して、現代社会で通用する専門的な知識を身につけている。
3. スポーツと経営に関する体系的な学修を自らの力で設計・履修し、所定の単位を修得できている。
4. 情報や知識を複眼的、論理的に分析し、自分の意見や研究成果を口頭や文章で的確に表現できるコミュニケーション・スキルを身につけている。
5. スポーツ関連企業、一般企業（製造業・サービス業など）、各種スポーツの指導者、公務員（一般行政職・警察官・消防士等）などとして、現代社会の発展に貢献できる能力と信頼される人格を身につけている。
6. 地域社会が抱える課題に向けて主体的に取り組むことができる。

### (2) スポーツマネジメント学科：カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 経営学部スポーツマネジメント学科は、建学の精神と教育理念に基づく学部の教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成する。
2. スポーツを経営面で支える視点を基軸とし、「共通教育科目」（「初年次教育科目」「リテラシー教育科目」「キャリア教育科目」「教養教育科目」）とスポーツマネジメント学科に配置の「専門教育科目」（「学部共通科目」「スポーツマネジメント科目」「研究ゼミナール」）をバランス良く学修することで、現代社会で通用する専門的な知識を身につけられる教育課程を設定する。
3. 経営に関する体系的な学修を学生が自らの力で設計・履修できるよう、授業の到達目標及びテーマ、準備学修、授業の概要及び授業計画、成績評価法等をシラバスの中に明示する。
4. アクティブラーニングの効果を高めるために、少人数制の授業や演習・ゼミナールを重視する。特にゼミナール（基礎ゼミナール 1・2 と研究ゼミナール 1～6）は、1年生から4年生まで必修とし、担当教員が適切に指導する。
5. 演習担当教員は、クラス担任として学生一人一人と向き合い、学生の学修状況や生活状況、キャリアプラン等を把握して、適切な指導・助言を行い、現代社会の発展に貢献できる能力と信頼される人格を身につけさせる。
6. 教育課程の編成にあたっては、学生一人一人に対して4年間で履修する科目を通して獲得すべき能力

をシラバスに具体的に示し、実社会における課題発見や課題解決につながる能力の獲得を保証する。  
特に地域社会がかかえる問題解決に役立つ実践的な知識や能力の獲得を保証する。

7. スポーツマネジメントに関する演習を設定して、プロスポーツや地域スポーツや健康増進活動に関する実践的な学修ができるようにする。
8. 学修を円滑に進めるべく、「カリキュラム・ツリー」や「カリキュラム・マップ」を導入し、学びの可視化を図る。
9. アクティブラーニングを支える諸施設(ラーニングコモンズや図書館、情報センターなど)を有効活用できるように、基礎ゼミナールや各学年で開講される研究ゼミナールにおいてその利用方法についての指導を実施する。

### (3) スポーツマネジメント学科：アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

経営学部スポーツマネジメント学科は、入学者として以下のような人を求めている。

プロスポーツの運営やスポーツビジネス、地域のスポーツ振興、スポーツを通じた健康増進啓発活動などに興味・関心を持ち、高等学校等において身につけた基礎的な知識や技能、思考力、表現力、主体性、協働性を、大学4年間の学修を通して、会社員や公務員、銀行員、スポーツに関わるビジネスパーソンとして就業・活動できる水準にまで向上させようという意志を持っている人。

#### 【大学入学までに身につけておくべき主な科目の内容】

高等学校における基礎的な学力・実技能力、又は、得意分野に関する優れた学力・実績を身につけていること。

##### 【国語】

基礎的な国語の知識や読解力、特に現代文の確かな知識。口頭や文章でコミュニケーションをとるための思考力・表現力

##### 【外国語(英語)】

基礎的な英語力

##### 【地理歴史】

基礎的な世界史・日本史・地理の知識

##### 【公民】

基礎的な現代社会・倫理・政治経済の知識

##### 【数学】

基礎的な数学の知識

##### 【専門学科(専門高校)】

得意分野に関する優れた学力・実績

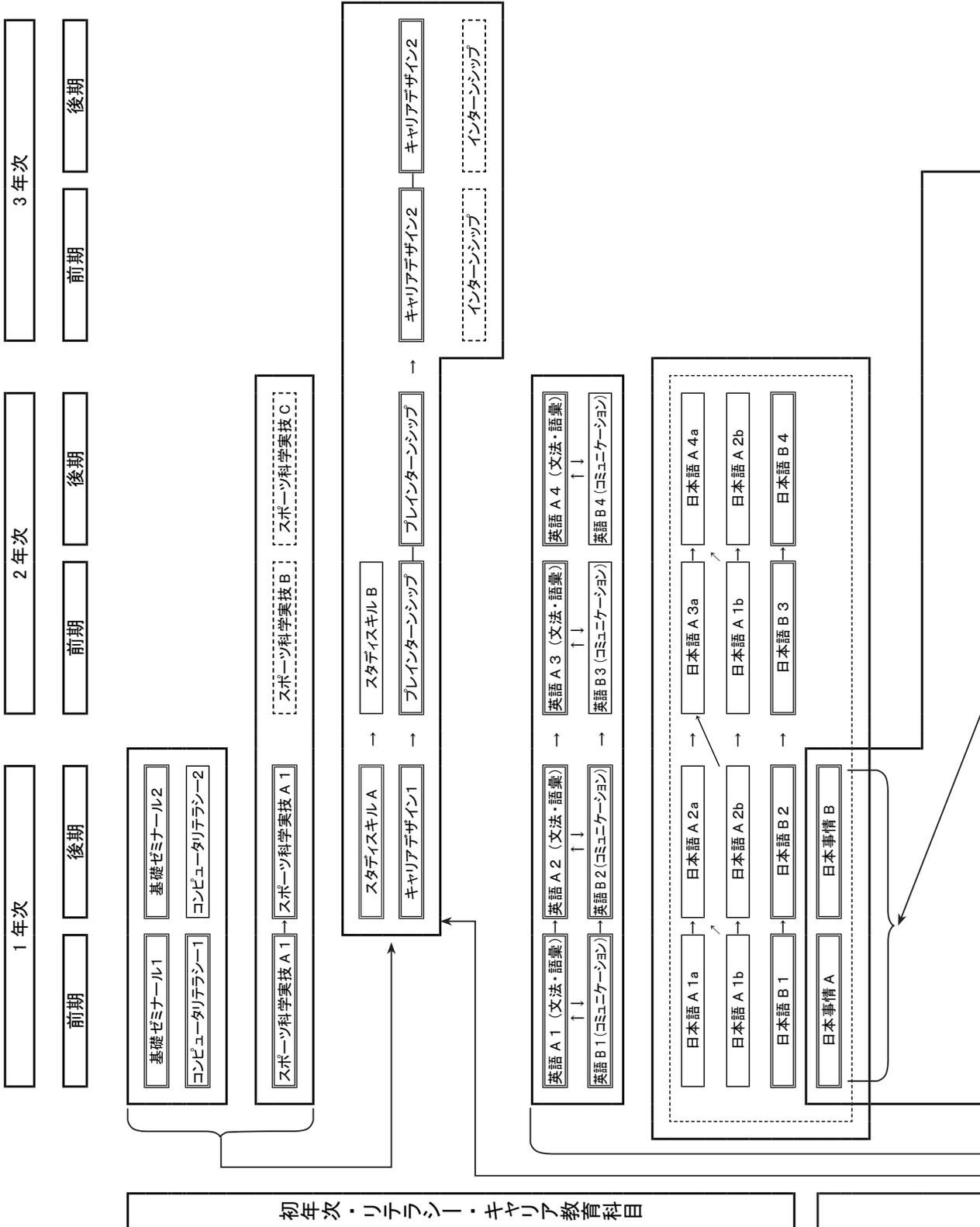
##### 【総合学科】

得意分野に関する優れた学力・実績

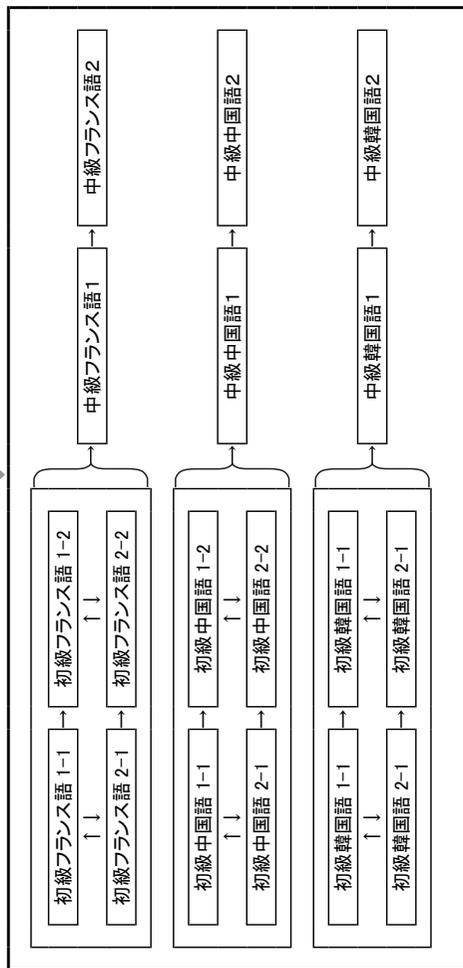
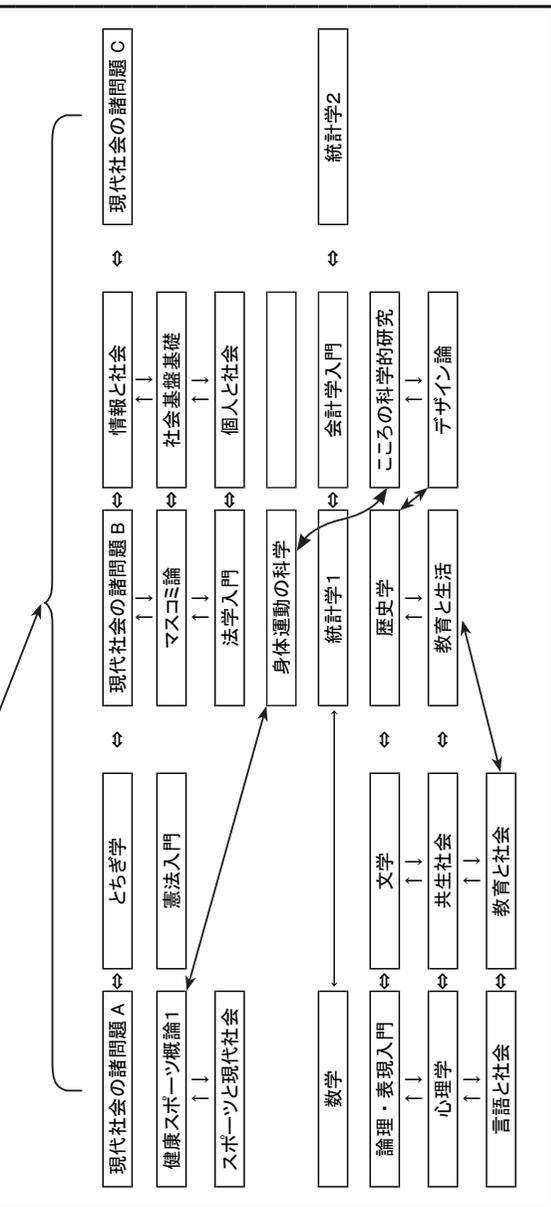


(4) スポーツマネジメント学科：カリキュラム・ツリー

共通教育科目カリキュラム・ツリー



初年次・リテラシー・キャリア教育科目



自主科目 A～F (1～4 どの学年でも半期の履修が可能)

海外研修 A～D (1～4 どの学年でも後期に条件が整っていた場合にのみ履修が可能)



3年次

前期

後期

企業と法A

→

企業と法B

4年次

前期

後期

ビジネスイングリッシュA

→

ビジネスイングリッシュB

ベンチャー起業論

アグリビジネス論

グローバル経営論

金融論

スポーツと地域社会

⇔

スポーツツーリズム

スポーツマネジメント演習A

→

スポーツマネジメント演習B

→

スポーツマネジメント演習C

スポーツビジネスコーチング論A

→

スポーツビジネスコーチング論B



トレーニング論

→

測定評価理論

↓↑

スポーツ栄養学

↓↑

スポーツ医学

→

機能解剖学

スポーツバイオメカニクス

研究ゼミナール3

→

研究ゼミナール4

→

研究ゼミナール5

→

研究ゼミナール6

測定評価実習

水泳実習

エアロビクス運動実習

(5) スポーツマネジメント学科：ナンバリングと学修成果マトリックス（カリキュラム・マップ）

共通教育科目マトリックス（カリキュラム・マップ）

		1年次																
		前期								後期								
		No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果								
1	2			3	4	1	2			3	4							
初期導入・リテラシー教育科目	留学生	ZA-ILB-11 1	基礎ゼミナール1	◎	○	◎	◎	ZA-ILB-11 2	基礎ゼミナール2	◎	○	◎	◎					
		ZA-ILI-11 1	コンピューターテラシー1	○	○	◎	○	ZA-ILI-21 1	コンピューターテラシー2	○	○	◎	○					
		ZA-ILS-11 1	スポーツ科学実技A1	○	○	○	○	ZA-ILS-11 2	スポーツ科学実技A2	○	○	○	○					
								ZA-ILC-11 1	スタディスキルA	◎	○	◎	○					
								ZA-ILC-11 2	キャリアデザイン1	◎	○	◎	◎					
		ZA-ILE-11 1	英語A1(文法・語彙)	◎	○	◎	○	ZA-ILE-11 3	英語A2(文法・語彙)	◎	○	◎	○					
		ZA-ILE-11 2	英語B1(コミュニケーション)	◎	○	◎	○	ZA-ILE-11 4	英語B2(コミュニケーション)	◎	○	◎	○					
		ZA-ILF-31 1a	日本語A1a	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2a	日本語A2a	◎	○	◎	○					
		ZA-ILF-31 1b	日本語A1b	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2b	日本語A2b	◎	○	◎	○					
ZA-ILF-11 1	日本語B1	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2	日本語B2	◎	○	◎	○							
教養教育科目		ZA-LAJ-21 1	日本事情A(留学生必修)	○	◎	○	○	ZA-LAJ-21-2	日本事情B(留学生必修)	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 24	現代社会の諸問題A	○	◎	○	◎	ZA-LAA-21 25	現代社会の諸問題B	○	◎	○	◎					
		ZA-LAA-21 13	健康スポーツ概論	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 9	憲法入門	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 4	数学	○	◎	◎	○	ZA-LAA-21 3	歴史学	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 1	論理・表現入門	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 7	文学	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 2	心理学	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 18	共生社会	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 20	言語と社会	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 21	教育と社会	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 16	スポーツと現代社会	○	◎	○	○											
		ZA-LLF-21 1	初級フランス語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 3	初級フランス語1-2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLF-21 2	初級フランス語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 4	初級フランス語2-2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLC-21 1	初級中国語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 3	初級中国語1ー2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLC-21 2	初級中国語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 4	初級中国語2ー2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLK-21 1	初級韓国語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 3	初級韓国語1ー2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLK-21 2	初級韓国語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 4	初級韓国語2ー2	◎	○	◎	○					
			ZA-LAI-21 F1	自主科目A※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F4	海外研修A※	◎	○	◎	◎				
			ZA-LAI-22 F2	自主科目B※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F5	海外研修B※	◎	○	◎	◎				
			ZA-LAI-23 F3	自主科目C※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F6	海外研修C※	◎	○	◎	◎				
			ZA-LAI-23 F8	自主科目D※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F7	海外研修D※	◎	○	◎	◎				
			ZA-LAI-23 F9	自主科目E※	◎	○	◎	○										
			ZA-LAI-23 F10	自主科目F※	◎	○	◎	○										

		3年次															
		前期								後期							
		No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果							
1	2			3	4	1	2			3	4						
初・リ科目	教養教育科目	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎				
		ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎	ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎				
		ZA-LAA-21 6	統計学2	◎	○	◎	◎										
		ZA-LAA-21 26	現代社会の諸問題C	○	◎	○	◎										





2年次															
				前期								後期			
学修成果				No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果			
1	2	3	4			1	2	3	4			1	2	3	4
○	◎	◎	◎	BB-BAL-12 1	経営管理論A	○	◎	◎	◎	BB-BAL-12 4	経営実践講座	○	◎	◎	◎
○	◎	◎	◎	BB-BAL-12 2	公共経営論A	○	◎	◎	◎	BB-BAL-32 11	経営戦略論	○	◎	◎	◎
○	◎	◎	◎	BB-BAL-12 3	現代企業論A	○	◎	◎	◎	BB-BAL-32 7	地域経営論	○	◎	◎	◎
				BB-BAL-32 1	フィールドワークB	○	◎	◎	◎	BB-BAL-32 15	簿記論B	○	◎	◎	◎
				BB-BAL-32 2	マーケティング論A	○	◎	◎	◎						
				BB-BAL-32 12	ヒューマンリソース・マネジメントA	○	◎	◎	◎						
				BB-BAL-32 4	財務諸表論A	○	◎	◎	◎						
				BB-BAL-32 5	経営情報論A	○	◎	◎	◎						
				BB-BAL-32 6	簿記論A	○	◎	◎	◎						
				BB-BAL-32 17	統計処理入門	○	◎	◎	◎						
○	◎	◎	◎	BS-SSM-22 1	スポーツマーケティング論	○	◎	◎	◎	BS-SSM-22 3	スポーツビジネス論	○	◎	◎	◎
○	◎	◎	◎	BS-SSM-22 4	スポーツ組織論	○	◎	◎	◎	BS-SSM-23 1	スポーツ施設管理論	○	◎	◎	◎
				BS-SSM-22 2	スポーツ産業論	○	◎	◎	◎	BS-SSM-22 5	スポーツサービス論	○	◎	◎	◎
				BS-SSM-22 9	発育発達論	○	◎	◎	◎	BS-SSM-22 8	スポーツ心理学	○	◎	◎	◎
										BS-SSM-22 15	健康管理概論	○	◎	◎	◎
										BS-SSM-22 11	スポーツ生理学	○	◎	◎	◎
				BB-BRS-12 1	研究ゼミナール1	◎	◎	◎	◎	BB-BRS-12 2	研究ゼミナール2	◎	◎	◎	◎
										BS-SOP-22 F	救急処置法実習	○	◎	◎	◎
										BS-SOP-22 F	コンディショニング実習	○	◎	◎	◎

4年次															
				前期								後期			
学修成果				No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果			
1	2	3	4			1	2	3	4			1	2	3	4
○	◎	◎	◎												
○	◎	◎	◎												
○	◎	◎	◎												
○	◎	◎	◎	BS-SSM-22 7	スポーツマネジメント演習C	○	◎	◎	◎						
○	◎	◎	◎	BS-SSM-22 18	スポーツバイオメカニクス	○	◎	◎	◎						
○	◎	◎	◎												
○	◎	◎	◎												
○	◎	◎	◎												
◎	◎	◎	◎	BB-BRS-14 1	研究ゼミナール5	◎	◎	◎	◎	BB-BRS-14 2	研究ゼミナール6	◎	◎	◎	◎

- 1 ディプロマポリシー①③ 自律学習能力
- 2 ディプロマポリシー② 専門知識・技術
- 3 ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力
- 4 ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性

(6) スポーツマネジメント学科：学修成果マトリックスについて

【ナンバリング・学修成果マトリックス〈付〉ナンバリングの概要（見方）について】  
ナンバリングの概要（見方）について

●開講科目 ナンバリングコード 凡例

A B - CDE - 12 3

① ② ③ ④ ⑤ ※⑤については二けた数字になる場合もある

コードの意味：

①授業開設単位 ← 学部 経営B 人文H 全学共通教育科目Z

②学科 ← 経営B スポーツマネジメントS / 発達教育D 心理コミュニケーションP

③学問分野 例 学部共通BA/HA 学科共通BBA

④性格・レベル 性格 必修1・選択2・選択必修3 レベルは標準履修開始年次

⑤分類番号 ← (便宜的に) 推奨履修順

●経営学部 ナンバリング コード例

経営学科

BB-BAL-111 例 学部共通 経営学総論A 必修 1年 1

BB-BAL-311 例 学部共通 生涯スポーツ論 選択必修 1年 1

BB-BBA-221 例 学科共通 企業経営史 選択 2年 1

BB-BBM-221 例 ビジネスマネジメント分野 経営管理論B 選択 2年 1

BB-BFI-231 例 会計・情報マネジメント分野 税法 選択 3年 1

BB-BCM-111 例 コミュニティマネジメント分野 地域福祉論 3年 1

BB-BRS-121 例 研究ゼミナール 研究ゼミナール1 必修 2年 1

スポーツマネジメント学科

BS-BAL-111 例 学部共通 経営学総論A 必修 1年 1

BS-SSM-111 例 スポーツマネジメント科目 スポーツマネジメント論 必修 1年 1

BS-SSM-231 例 スポーツマネジメント科目 スポーツ施設管理 選択 3年 1

BS-SRS-121 例 研究ゼミナール 研究ゼミナール1 必修 2年 1

BS-SOP-221 例 卒業所要単位外科目 測定評価実習 選択 2年 1

●人間文化学部 ナンバリング コード例

HD-HAL-121 例 学部共通 専門演習A 必修 2年 1

HP-HAL-131 例 学部共通 専門演習C 必修 3年 1

HD-DEL-111 例 発達 初等教育専門科目 教職論(小・中・高) 必修 1年 1

HD-DSE-221 例 発達 特別支援教育専門科目 知的障害児・者心理学 選択 2年 1

HD-DHI-111 例 発達 中等教育専門科目 日本語学概論A 必修 1年 1

HD-DJH-241 例 発達 中等教育専門科目 中学校教育実習 選択 4年 1

※DJHコードは実質1科目しかない。

HP-HPP-111 例 心理コミュ 心理学系科目 心理学概論 必修 1年 1

HP-HPC-211 例 心理コミュ コミュニケーション系科目 日本語学概論 選択

●共通教育科目 ナンバリング コード例

ZA=全学共通教育科目

IL 初年次・リテラシー・キャリア教育科目

ILB 初年次教育科目 例 基礎ゼミナール1-1 ZA-ILB-111 Basic

ILE リテラシー教育科目 例 英語A1 ZA-ILE-111 Englishi

ILF リテラシー教育科目 例 日本語A1※ ZA-ILF-111 Foreign student

ILI リテラシー教育科目 例 コンピュータリテラシー1 ZA-ILI-111 ICT

ILS リテラシー教育科目 例 スポーツ科学実技A1 ZA-ILS-111 Sports

ILC キャリア教育科目 例 スタディスキルA ZA-ILC-111 Career

LA 教養教育科目

LAA 教養教育科目 例 心理学 ZA-LAA-212 Liberal arts all

LAJ 教養教育科目 例 日本事情A ZA-LAJ-211 Japan

LLF 教養教育科目 例 第二外国語 初級フランス語1-1 ZA-LLF-211 French

LLC 教養教育科目 例 第二外国語 初級中国語1-1 ZA-LLC-211 Chinese

LLK 教養教育科目 例 第二外国語 初級韓国語1-1 ZA-LLK-211 Korea

LAI 教養教育科目 例 自主科目・海外研修/自主科目A ZA-LAI-211 independent

BBT 経営学部経営学科商業免許関連科目 T=teacher

例 教職論(商) BB-BBT-111

教職実践研究(商) BB-BBT-231

(7) スポーツマネジメント学科：適正な成績管理

【評価ルーブリックについて】

スポーツマネジメント学科 ディプロマポリシー ルーブリック

	優秀 (excellent)	平均 (average)
ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の修得	履修単位数の上限（22単位）の9割以上を履修し単位取得している。	履修単位数の上限（22単位）の8割以上を履修し単位取得している。
ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の修得	スポーツマネジメント科目を学修の中軸とし、経営学に関する学部共通科目を幅広く履修し、スポーツマネジメントに関連する複数の資格を取得している。	スポーツマネジメント科目を学修の中軸とし、経営学に関する学部共通科目を幅広く履修している。
ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の修得	基礎ゼミ・専門ゼミ（専門演習）・卒業論文（卒業研究）の成績が平均して「優」（GP3）以上。	基礎ゼミ・専門ゼミ（専門演習）・卒業論文（卒業研究）の成績が平均して「良」（GP2）以上。
ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得	卒業後の進路（就労・進学など）が決定している。累積GPA3.0以上。	卒業後の進路（就労・進学など）が決定している。累積GPA1.5以上3.0未満。

途上 (developing)	未達 (unachieved)
履修単位数の上限 (22単位) の7割以上を履修し単位取得している。	履修単位数の上限 (22単位) の7割未満しか単位取得できていない。
スポーツマネジメント科目を学修の中軸とし、経営学に関する学部共通科目を最低限履修している。	スポーツマネジメント科目の履修が不十分。
基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績が平均して「可」から「良」 (GP 1～2) 。	基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績に「可」「不可」が多い。
卒業後の進路 (就労・進路など) を模索中。累積GPA1.0以上3.0未満。	卒業に至らず。累積GPA1.0未満。

## (8) スポーツマネジメント学科：GPAの算出と活用

成績表に表示されているGPAの見方について

作新学院大学では、成績表にGPA (Grade Point Average) の表示をしています。これは、学生一人ひとりの成績を以下に示す規則に沿ってスコア化するものです。本学ではこのスコアを履修指導の資料のほか、成績優秀者の表彰などの資料として利用しています。

### GPA制度

GPAは次のようにして求めます。

最初に、下の表に従って、各科目の成績に応じたグレードポイント (Grade Point : 以下「GP」という) を出します。

成績	GP
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可 (無資格・試験欠席を含む)	0

そして、各科目の単位数を掛けて足した合計点を履修登録単位の総数で割ったものがGPAです。具体的には、下のようになります。

【例】	授業科目	(単位数)	評価	GP	単位	ポイント数
	基礎ゼミナール1	(2単位)	優	3	× 2	= 6
	英語A1	(1単位)	良	2	× 1	= 2
	英語B1	(1単位)	秀	4	× 1	= 4
	コンピュータリテラシー1	(2単位)	不可	0	× 2	= 0
	合計	6単位				12

$$\text{GPA} = \text{②} \div \text{①} = 12 \div 6 = \underline{2.0}$$

したがって、履修した全ての科目が「秀」の人のGPAは4ですし、履修した全ての科目が「不可」だった場合のGPAは0です。なお、GPAには平均をとる期間により、「学期GPA」(当該学期の成績で計算したGPA)、「通算GPA」(当該学期までの全成績で計算したGPA)の2種類があります。また、「不可」もGP=0として算入されることに注意してください。

## 【GPA の分布/GPA の分布（前年度データ）】

ホームページに GPA の分布が掲載されています

<https://www.sakushin-u.ac.jp/disclosure/page.php?id=577>

本学 HP トップページ > 情報公開 > 教育情報の公表（大学） > ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること（第6号関係） > GPA の分布



(9) スポーツマネジメント学科：学修成果の可視化

## 【ディプロマ・サプリメントについて】

ディプロマ・サプリメントとは

ディプロマ・サプリメントとは、個々の学生が卒業段階で身につけた学位・資格等の学修内容について証明される学位証明書補助資料のことである。



# 人間文化学部発達教育学科の学び



## ■ 8 人間文化学部発達教育学科の学び

### (1) 発達教育学科：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

人間文化学部、発達教育学科は、自ら学び、自主的に自らを律して行動できる人材を育成することを教育理念としている。その実現に向け以下の能力を身につけ、「共通教育科目」及び「専門教育科目」に関する単位を修得した学生には、卒業を認定し、学士（人間文化学）の学位を与える。また、免許や資格の取得を希望する学生には、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（国語）、高等学校教諭一種免許状（国語）、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害に関する教育の領域）、司書教諭資格、図書館司書、IT パスポートなどの取得を積極的に支援する。

1. 建学の精神である「作新民」と教育理念である「自学自習」・「自主自律」の双方を理解し、かつ実践できる。
2. 「共通教育科目」と人間文化学部及び発達教育学科配置の「専門教育科目」をバランス良く学修して、現代社会で通用する専門的な知識を身につけている。
3. 教育学(教育の基礎的理解・教科及び教科の指導法)を学修の中核に定めた上で、人間と文化に関する体系的な学修を自らの力で設計・履修し、所定の単位を修得できている。
4. 情報や知識を複眼的、論理的に分析し、自分の意見や研究成果を口頭や文章で的確に表現できるコミュニケーション・スキルを身につけている。
5. 教員、公務員、また企業にあっては、深い人間理解に基づく指導力を持った人材として、現代社会の発展に貢献できる能力と信頼される人格を身につけている。
6. 地域社会が抱える課題に向けて主体的に取り組むことができる。

### (2) 発達教育学科：カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 人間文化学部、発達教育学科は、建学の精神と教育理念に基づく学部の教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成する。
2. 「共通教育科目」（「初年次教育科目」「リテラシー教育科目」「キャリア教育科目」「教養教育科目」）と人間文化学部及び発達教育学科配置の「専門教育科目」「初等教育専門科目」「特別支援教育専門科目」「中等教育専門科目」をバランス良く学修することで、現代社会で通用する専門的な知識を身につけられる教育課程を設定する。
3. 人間と文化に関する体系的な学修を学生が自らの力で設計・履修できるよう、授業の到達目標及びテーマ、準備学習、授業の概要及び授業計画、成績評価法等をシラバスの中に明示する。
4. アクティブラーニングの効果を高めるために、少人数制の授業や演習を重視する。特に演習は、1年生から4年生まで必修とする。4年生の卒論指導演習では、学生が自ら設計して体系的に履修して来た人間文化学部の学修成果を卒業論文という形で発表できるよう、担当教員が適切に指導する。
5. 演習担当教員は、クラス担任として学生一人一人と向き合い、学生の学修状況や生活状況、キャリアプラン等を把握して、適切な指導、助言を行い、現代社会の発展に貢献できる能力と信頼される人格を身に

つけさせる。

6. 教育課程の編成にあたっては、学生一人一人に対して4年間で履修する科目を通して獲得すべき能力をシラバスに具体的に示し、実社会における課題発見や課題解決につながる能力の獲得を保証する。特に地域社会がかかえる問題解決に役立つ実践的な知識や能力の獲得を保証する。
7. 留学生の受け入れも視野に入れ、「共通教育科目」と人間文化学部配置の「専門教育科目」の学修を通して日本語運用能力の向上と、異文化理解が進むよう支援する。また日本人学生が国際的な感覚を養う手助けとして交換留学制度を活用する。
8. 学修を円滑に進めるべく、「カリキュラム・ツリー」や「カリキュラム・マップ」を導入し、学びの可視化を図る。
9. アクティブラーニングを支える諸施設(ラーニングコモンズや図書館、情報センターなど)を有効活用できるように、基礎ゼミナールや各学年で開講される演習科目においてその利用方法についての指導を実施する。

### (3) 発達教育学科：アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

人間文化学部（発達教育学科）は、入学者として以下のような人を求めている。

発達教育学科では、児童・生徒の教育に興味・関心を持ち、高等学校等において身につけた基礎的な知識や技能、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性を、大学4年間の学修を通して小学校や中学校、高等学校、特別支援学校等の教育現場で勤務できる水準にまで向上させようという意志を持っている人。

〔大学入学までに身につけておくべき主な科目の内容〕

高等学校における基礎的な学力・実技能力、又は、得意分野に関する優れた学力・実績を身につけていること。

#### 【国語】

基礎的な国語の知識や読解力、特に現代文の確かな読解力。口頭や文章でコミュニケーションをとるために思考力・表現力。

#### 【外国語（英語）】

基礎的な英語力。

#### 【地理歴史】

基礎的な世界史・日本史・地理の知識。

#### 【公民】

基礎的な現代社会・倫理・政治経済の知識。

#### 【数学】

基礎的な数学の知識。

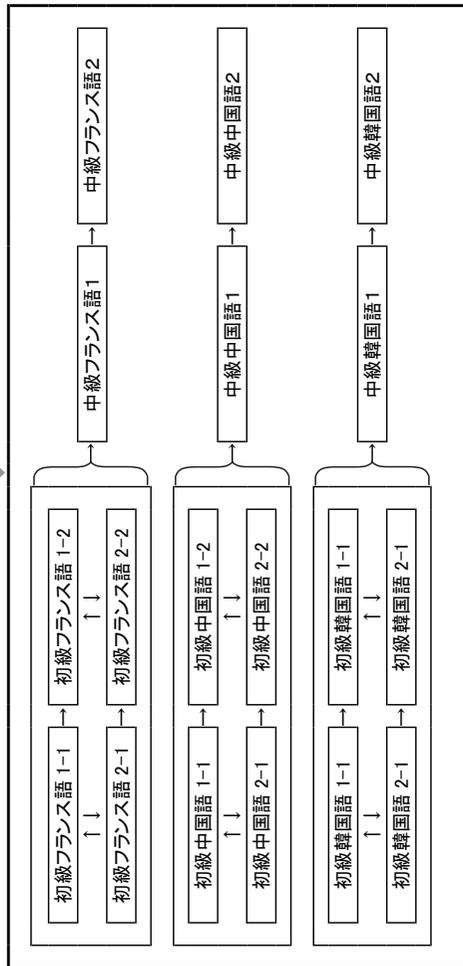
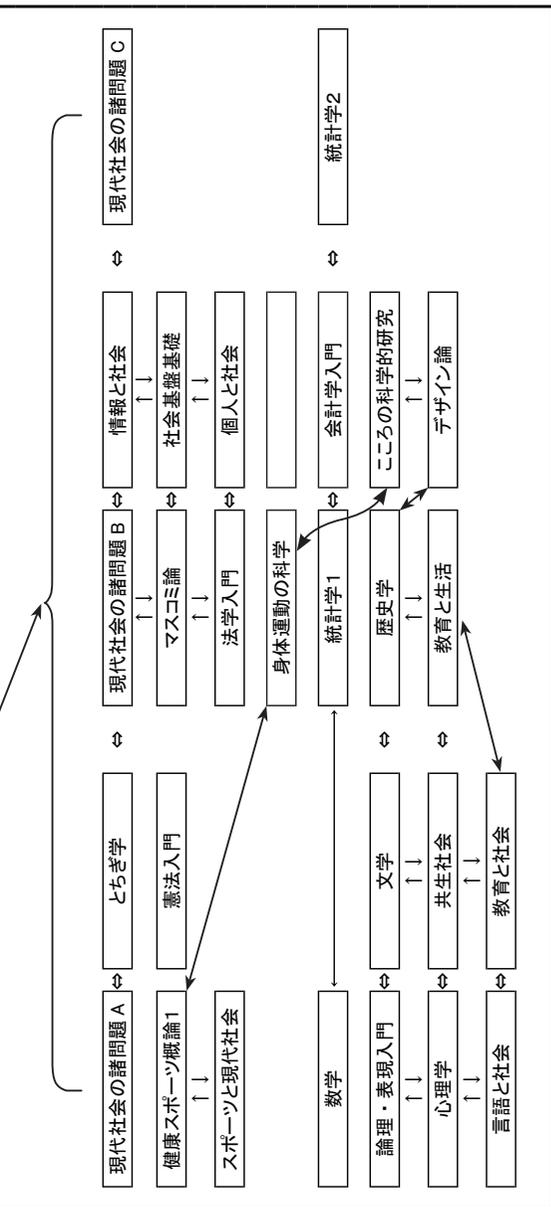
**【専門学科（専門高校）】**

得意分野に関する優れた学力・実績。

**【総合学科】**

得意分野に関する優れた学力・実績。

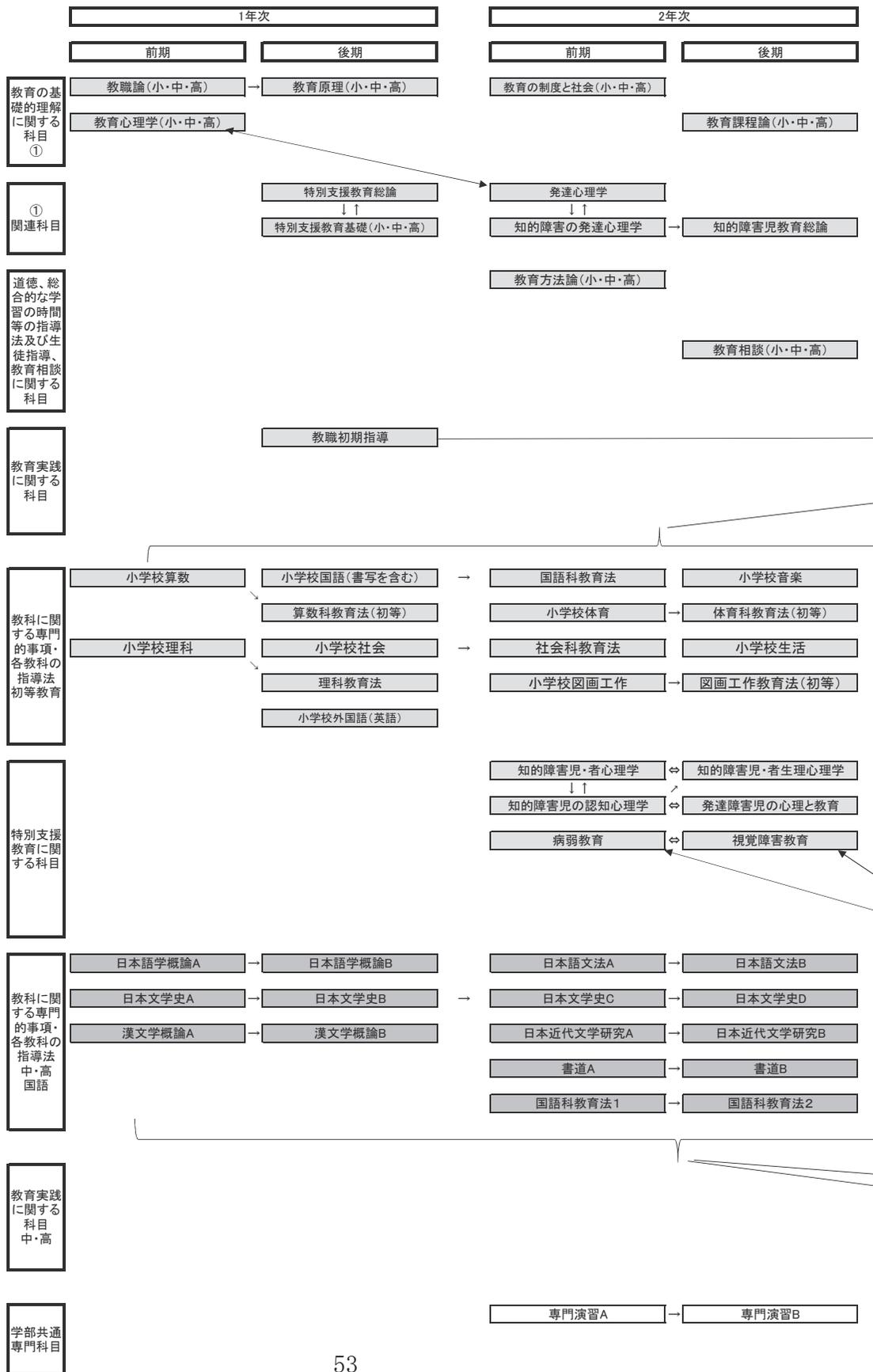




自主科目 A～F (1～4 どの学年でも半期の履修が可能)

海外研修 A～D (1～4 どの学年でも後期に条件が整っていた場合にのみ履修が可能)

発達教育学科専門科目カリキュラム・ツリー





(5) 発達教育学科：ナンバリングと学修成果マトリックス（カリキュラム・マップ）

共通教育科目マトリックス（カリキュラム・マップ）

		1年次												
		前期						後期						
		No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果				
1	2			3	4	1	2			3	4			
初期導入・リテラシー教育科目	留学生	ZA-ILB-11 1	基礎ゼミナール1	◎	◎	◎	◎	ZA-ILB-11 2	基礎ゼミナール2	◎	◎	◎	◎	
		ZA-ILI-11 1	コンピュータリテラシー1	○	○	◎	○	ZA-ILI-21 1	コンピュータリテラシー2	○	○	◎	○	
		ZA-ILS-11 1	スポーツ科学実技A1	○	○	○	○	ZA-ILS-11 2	スポーツ科学実技A2	○	○	○	○	
								ZA-ILC-11 1	スタディスキルA	◎	○	◎	○	
								ZA-ILC-11 2	キャリアデザイン1	◎	○	◎	◎	
		ZA-ILE-11 1	英語A1(文法・語彙)	◎	○	◎	◎	ZA-ILE-11 3	英語A2(文法・語彙)	◎	○	◎	○	
		ZA-ILE-11 2	英語B1(コミュニケーション)	◎	○	◎	○	ZA-ILE-11 4	英語B2(コミュニケーション)	◎	○	◎	○	
教養教育科目		ZA-ILF-31 1a	日本語A1a	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2a	日本語A2a	◎	○	◎	○	
		ZA-ILF-31 1b	日本語A1b	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2b	日本語A2b	◎	○	◎	○	
		ZA-ILF-11 1	日本語B1	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2	日本語B2	◎	○	◎	○	
		ZA-LAJ-21 1	日本事情A(留学生必修)	○	◎	○	○	ZA-LAJ-21-2	日本事情B(留学生必修)	○	◎	○	○	
		ZA-LAA-21 24	現代社会の諸問題A	○	◎	○	◎	ZA-LAA-21 25	現代社会の諸問題B	○	◎	○	◎	
		ZA-LAA-21 13	健康スポーツ概論	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 9	憲法入門	○	◎	○	○	
		ZA-LAA-21 4	数学	○	◎	◎	○	ZA-LAA-21 3	歴史学	○	◎	○	○	
		ZA-LAA-21 1	論理・表現入門	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 7	文学	○	◎	○	○	
		ZA-LAA-21 2	心理学	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 18	共生社会	○	◎	○	○	
		ZA-LAA-21 20	言語と社会	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 21	教育と社会	○	◎	○	○	
		ZA-LAA-21 16	スポーツと現代社会	○	◎	○	○							
		ZA-LLF-21 1	初級フランス語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 3	初級フランス語1-2	◎	○	◎	○	
		ZA-LLF-21 2	初級フランス語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 4	初級フランス語2-2	◎	○	◎	○	
		ZA-LLC-21 1	初級中国語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 3	初級中国語1ー2	◎	○	◎	○	
		ZA-LLC-21 2	初級中国語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 4	初級中国語2ー2	◎	○	◎	○	
		ZA-LLK-21 1	初級韓国語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 3	初級韓国語1ー2	◎	○	◎	○	
		ZA-LLK-21 2	初級韓国語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 4	初級韓国語2ー2	◎	○	◎	○	
		ZA-LAI-21 F1	自主科目A※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F4	海外研修A※	◎	○	◎	○	
ZA-LAI-22 F2	自主科目B※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F5	海外研修B※	◎	○	◎	○			
ZA-LAI-23 F3	自主科目C※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F6	海外研修C※	◎	○	◎	○			
ZA-LAI-23 F8	自主科目D※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F7	海外研修D※	◎	○	◎	○			
ZA-LAI-23 F9	自主科目E※	◎	○	◎	○									
ZA-LAI-23 F10	自主科目F※	◎	○	◎	○									

		3年次											
		前期						後期					
		No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果			
1	2			3	4	1	2			3	4		
初・リ科目	教養教育科目	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎
		ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎	ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎
		ZA-LAA-21 6	統計学2	◎	○	◎							
		ZA-LAA-21 26	現代社会の諸問題C	○	◎	○							



発達教育学科専門科目マトリックス (カリキュラム・マップ)

		1年次							
		前期				後期			
	No.	科目	学修成果				No.	科目	
			1	2	3	4			
教育の基礎的理解に関する科目①	HD-DEL-11 1	教職論(小・中・高)	○	◎	○	◎	HD-DEL-11 2	教育原理(小・中・高)	
	HD-DEL-11 3	教育心理学(小・中・高)	○	◎	○	◎			
上記① 関連科目							HD-DEL-11 8	特別支援教育総論	
							HD-DEL-11 11	特別支援教育基礎(小・中・高)	
道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目									
教育実践に関する科目							HD-DEL-21 6	教職初期指導	
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 初等教育	HD-DEL-11 6	小学校算数	○	◎	○	○	HD-DEL-11 4	小学校国語(書写を含む)	
	HD-DEL-11 7	小学校理科	○	◎	○	○	HD-DEL-11 9	算数科教育法(初等)	
							HD-DEL-11 5	小学校社会	
							HD-DEL-11 10	理科教育法	
						HD-DEL-11 8	小学校外国語(英語)		
特別支援教育に関する科目									
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 中・高 国語	HD-DHI-11 1	日本語学概論A	○	◎	○	○	HD-DHI-11 5	日本語学概論B	
	HD-DHI-11 2	日本文学史A	○	◎	○	○	HD-DHI-11 6	日本文学史B	
	HD-DHI-11 3	漢文学概論A	○	◎	○	○	HD-DHI-11 7	漢文学概論B	
教育実践に関する科目 中・高									
学部共通専門科目									

		3年次							
		前期				後期			
	No.	科目	学修成果				No.	科目	
			1	2	3	4			
教育の基礎的理解に関する科目①									
上記① 関連科目							HD-DEL-21 7	生涯学習論	
道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	HD-DEL-12 2	道德指導法(小・中・高)	○	◎	◎	◎	HD-DEL-12 8	総合的な学習に関する指導法(小・中・高)	
	HD-DEL-12 3	特別活動の指導法(小・中・高)	○	◎	◎	○			
	HD-DEL-12 6	生徒指導と進路指導(小・中・高)	○	◎	◎	◎			
教育実践に関する科目	HD-DEL-12 13	教職総合指導	○	◎	◎	○	HD-DEL-23 1	教職実践研究(小・中・高)	
							HD-DEL-23 2	教育実習事前事後指導(小)	
							HD-DEL-23 3	小学校教育実習	
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 初等教育	HD-DEL-22 2	音楽科教育法(初等)	○	◎	◎	○	HD-DEL-22 4	家庭科教育法(初等)	
	HD-DEL-21 4	小学校家庭	○	◎	◎	○			
	HD-DEL-22 1	生活科教育法	○	◎	◎	○			
特別支援教育に関する科目	HD-DSE-23 1	知的障害児教育法①	○	◎	◎	◎	HD-DSE-23 2	知的障害児教育法②	
	HD-DSE-22 3	聴覚障害者教育総論	○	◎	○	○	HD-DSE-22 11	知的障害児教育課程論	
	HD-DSE-22 6	言語障害教育	○	◎	○	○	HD-DSE-22 9	肢体不自由者教育総論	
	HD-DSE-22 5	重複障害教育	○	◎	○	○			
	HD-DHI-22 9	日本人の言語史A	○	◎	○	○	HD-DHI-22 10	日本人の言語史B	
教科に関する専門的事項・各教科の指導法 中・高 国語	HD-DHI-22 1	日本古典文学研究A	○	◎	○	○	HD-DHI-22 2	日本古典文学研究B	
	HD-DHI-22 7	日本近代文学研究C	○	◎	○	○	HD-DHI-22 8	日本近代文学研究D	
	HD-DHI-23 1	国語科教育法3	○	◎	◎	○	HD-DHI-12 1	文章表現法	
							HD-DHI-23 2	国語科教育法4	
教育実践に関する科目 中・高									
学部共通専門科目	HD-HAL-13 1	専門演習C	◎	○	◎	○	HD-HAL-13 1	専門演習D	



(6) 発達教育学科：学修成果マトリックスについて

【ナンバリング・学修成果マトリックス〈付〉ナンバリングの概要（見方）について】  
ナンバリングの概要（見方）について

●開講科目 ナンバリングコード 凡例

A B - CDE - 12 3

① ② ③ ④ ⑤ ※⑤については二けた数字になる場合もある

コードの意味：

①授業開設単位 ← 学部 経営B 人文H 全学共通教育科目Z

②学科 ← 経営B スポーツマネジメントS / 発達教育D 心理コミュニケーションP

③学問分野 例 学部共通BA/HA 学科共通BBA

④性格・レベル 性格 必修1・選択2・選択必修3 レベルは標準履修開始年次

⑤分類番号 ← (便宜的に) 推奨履修順

●経営学部 ナンバリング コード例

経営学科

BB-BAL-111 例 学部共通 経営学総論A 必修 1年 1

BB-BAL-311 例 学部共通 生涯スポーツ論 選択必修 1年 1

BB-BBA-221 例 学科共通 企業経営史 選択 2年 1

BB-BBM-221 例 ビジネスマネジメント分野 経営管理論B 選択 2年 1

BB-BFI-231 例 会計・情報マネジメント分野 税法 選択 3年 1

BB-BCM-111 例 コミュニティマネジメント分野 地域福祉論 3年 1

BB-BRS-121 例 研究ゼミナール 研究ゼミナール1 必修 2年 1

スポーツマネジメント学科

BS-BAL-111 例 学部共通 経営学総論A 必修 1年 1

BS-SSM-111 例 スポーツマネジメント科目 スポーツマネジメント論 必修 1年 1

BS-SSM-231 例 スポーツマネジメント科目 スポーツ施設管理 選択 3年 1

BS-SRS-121 例 研究ゼミナール 研究ゼミナール1 必修 2年 1

BS-SOP-221 例 卒業所要単位外科目 測定評価実習 選択 2年 1

●人間文化学部 ナンバリング コード例

HD-HAL-121 例 学部共通 専門演習A 必修 2年 1

HP-HAL-131 例 学部共通 専門演習C 必修 3年 1

HD-DEL-111 例 発達 初等教育専門科目 教職論(小・中・高) 必修 1年 1

HD-DSE-221 例 発達 特別支援教育専門科目 知的障害児・者心理学 選択 2年 1

HD-DHI-111 例 発達 中等教育専門科目 日本語学概論A 必修 1年 1

HD-DJH-241 例 発達 中等教育専門科目 中学校教育実習 選択 4年 1

※DJHコードは実質1科目しかない。

HP-HPP-111 例 心理コミュ 心理学系科目 心理学概論 必修 1年 1

HP-HPC-211 例 心理コミュ コミュニケーション系科目 日本語学概論 選択

●共通教育科目 ナンバリング コード例

ZA=全学共通教育科目

IL 初年次・リテラシー・キャリア教育科目

ILB 初年次教育科目 例 基礎ゼミナール1-1 ZA-ILB-111 Basic

ILE リテラシー教育科目 例 英語A1 ZA-ILE-111 Englishi

ILF リテラシー教育科目 例 日本語A1※ ZA-ILF-111 Foreign student

ILI リテラシー教育科目 例 コンピュータリテラシー1 ZA-ILI-111 ICT

ILS リテラシー教育科目 例 スポーツ科学実技A1 ZA-ILS-111 Sports

ILC キャリア教育科目 例 スタディスキルA ZA-ILC-111 Career

LA 教養教育科目

LAA 教養教育科目 例 心理学 ZA-LAA-212 Liberal arts all

LAJ 教養教育科目 例 日本事情A ZA-LAJ-211 Japan

LLF 教養教育科目 例 第二外国語 初級フランス語1-1 ZA-LLF-211 French

LLC 教養教育科目 例 第二外国語 初級中国語1-1 ZA-LLC-211 Chinese

LLK 教養教育科目 例 第二外国語 初級韓国語1-1 ZA-LLK-211 Korea

LAI 教養教育科目 例 自主科目・海外研修/自主科目A ZA-LAI-211 independent

BBT 経営学部経営学科商業免許関連科目 T=teacher

例 教職論(商) BB-BBT-111

教職実践研究(商) BB-BBT-231

(7) 発達教育学科：適正な成績管理

【評価ルーブリックについて】

発達教育学科 ディプロマポリシー ルーブリック

	優秀 (excellent)	平均 (average)
ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の修得	履修単位数の上限 (22単位) の9割以上を履修し単位取得している。	履修単位数の上限 (22単位) の8割以上を履修し単位取得している。
ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の修得	教育学に関わる科目を履修し、複数の教員免許の取得が可能。	教育学に関わる科目を履修し、教員免許の取得も可能。
ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の修得	基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績が平均して「優」 (GP3) 以上。	基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績が平均して「良」 (GP2) 以上。
ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得	卒業後の進路 (就労・進学など) が決定している。累積GPA3.0以上。	卒業後の進路 (就労・進学など) が決定している。累積GPA1.5以上3.0未満。

途上 (developing)	未達 (unachieved)
履修単位数の上限 (22単位) の7割以上を履修し単位取得している。	履修単位数の上限 (22単位) の7割未満しか単位取得できていない。
教育学に関わる科目を履修し、教員免許の取得は目指さない。	教育学に関わる科目の履修が不十分。
基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績が平均して「可」から「良」 (GP 1～2) 。	基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績に「可」「不可」が多い。
卒業後の進路 (就労・進路など) を模索中。累積GPA1.0以上3.0未満。	卒業に至らず。累積GPA1.0未満。

## (8) 発達教育学科：GPA の算出と活用

成績表に表示されている GPA の見方について

作新学院大学では、成績表に GPA (Grade Point Average) の表示をしています。これは、学生一人ひとりの成績を以下に示す規則に沿ってスコア化するものです。本学ではこのスコアを履修指導の資料のほか、成績優秀者の表彰などの資料として利用しています。

### GPA 制度

GPA は次のようにして求めます。

最初に、下の表に従って、各科目の成績に応じたグレードポイント (Grade Point : 以下「GP」という) を出します。

成績	GP
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可 (無資格・試験欠席を含む)	0

そして、各科目の単位数を掛けて足した合計点を履修登録単位の総数で割ったものが GPA です。具体的には、下のようになります。

【例】	授業科目	(単位数)	評価	GP	単位	ポイント数
	基礎ゼミナール1	(2 単位)	優	3	× 2	= 6
	英語 A1	(1 単位)	良	2	× 1	= 2
	英語 B1	(1 単位)	秀	4	× 1	= 4
	コンピュータリテラシー1	(2 単位)	不可	0	× 2	= 0
	合 計	6 単位				12

$$\text{GPA} = \text{②} \div \text{①} = 12 \div 6 = 2.0$$

したがって、履修した全ての科目が「秀」の人の GPA は 4 ですし、履修した全ての科目が「不可」だった場合の GPA は 0 です。なお、GPA には平均をとる期間により、「学期 GPA」(当該学期の成績で計算した GPA)、「通算 GPA」(当該学期までの全成績で計算した GPA) の 2 種類があります。また、「不可」も GP=0 として算入されることに注意してください。

## 【GPA の分布/GPA の分布（前年度データ）】

ホームページに GPA の分布が掲載されています

<https://www.sakushin-u.ac.jp/disclosure/page.php?id=577>

本学 HP トップページ > 情報公開 > 教育情報の公表（大学） > ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること（第6号関係） > GPA の分布



(9) 発達教育学科：学修成果の可視化

## 【ディプロマ・サプリメントについて】

ディプロマ・サプリメントとは

ディプロマ・サプリメントとは、個々の学生が卒業段階で身につけた学位・資格等の学修内容について証明される学位証明書補助資料のことである。



# 人間文化学部心理コミュニケーション学科の学び



## ■ 9 人間文化学部心理コミュニケーション学科の学び

### (1) 心理コミュニケーション学科：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

人間文化学部、心理コミュニケーション学科は、自ら学び、自主的に自らを律して行動できる人材を育成することを教育理念としている。その実現に向け以下の能力を身につけ、「共通教育科目」及び「専門教育科目」に関する単位を修得した学生には、卒業を認定し、学士（人間文化学）の学位を与える。また、免許や資格の取得を希望する学生には、公認心理師受験資格、認定心理士、図書館司書、ITパスポートなどの取得を積極的に支援する。

1. 建学の精神である「作新民」と教育理念である「自学自習」・「自主自律」の双方を理解し、かつ実践できる。
2. 「共通教育科目」と人間文化学部及び心理コミュニケーション学科配置の「専門教育科目」をバランス良く学修して、現代社会で通用する専門的な知識を身につけている。
3. 心理学とそれを相互補完する社会学・言語文化分野を学修の中核に定めた上で、人間と文化に関する体系的な学修を自らの力で設計・履修し、所定の単位を修得できている。
4. 情報や知識を複眼的、論理的に分析し、自分の意見や研究成果を口頭や文章で的確に表現できるコミュニケーション・スキルを身につけている。
5. 心理職、公務員、また企業にあつては、深い人間理解に基づく指導力を持った人材として、現代社会の発展に貢献できる能力と信頼される人格を身につけている。
6. 地域社会が抱える課題に向けて主体的に取り組むことができる。

### (2) 心理コミュニケーション学科：カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 人間文化学部、心理コミュニケーション学科は、建学の精神と教育理念に基づく学部の教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成する。
2. 「共通教育科目」（「初年次教育科目」「リテラシー教育科目」「キャリア教育科目」「教養教育科目」と人間文化学部及び心理コミュニケーション学科配置の「専門教育科目」「心理系専門教育科目」「コミュニケーション系専門教育科目」）をバランス良く学修することで、現代社会で通用する専門的な知識を身につけられる教育課程を設定する。
3. 人間と文化に関する体系的な学修を学生が自らの力で設計・履修できるよう、授業の到達目標及びテーマ、準備学習、授業の概要及び授業計画、成績評価法等をシラバスの中に明示する。
4. アクティブラーニングの効果を高めるために、少人数制の授業や演習を重視する。特に演習は、1年生から4年生まで必修とする。4年生の卒論指導演習では、学生が自ら設計して体系的に履修して来た人間文化学部の学修成果を卒業論文という形で発表できるよう、担当教員が適切に指導する。

5. 演習担当教員は、クラス担任として学生一人一人と向き合い、学生の学修状況や生活状況、キャリアプラン等を把握して、適切な指導、助言を行い、現代社会の発展に貢献できる能力と信頼される人格を身につけさせる。
6. 教育課程の編成にあたっては、学生一人一人に対して4年間で履修する科目を通して獲得すべき能力をシラバスに具体的に示し、実社会における課題発見や課題解決につながる能力の獲得を保証する。特に地域社会がかかえる問題解決に役立つ実践的な知識や能力の獲得を保証する。
7. 留学生を積極的に受け入れ、「共通教育科目」と人間文化学部配置の「専門教育科目」の学修を通して日本語運用能力の向上と、異文化理解が進むよう支援する。また日本人学生が国際的な感覚を養う手助けとして交換留学制度を活用する。
8. 学修を円滑に進めるべく、「カリキュラム・ツリー」や「カリキュラム・マップ」を導入し、学びの可視化を図る。
9. アクティブラーニングを支える諸施設（ラーニングcommonsや図書館、情報センターなど）を有効活用できるように、基礎ゼミナールや各学年で開講される演習科目においてその利用方法についての指導を実施する。

### (3) 心理コミュニケーション学科：アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

人間文化学部（心理コミュニケーション学科）は、入学者として以下のような人を求めている。

心理コミュニケーション学科では、人間の心理（心理学）、社会の中の人間（社会学）、言語や文学（言語学・日本文学など）に興味を持ち、高等学校等において身につけた基礎的な知識や技能、思考力、判断力、表現力、主体性、協調性を、大学4年間の学修を通して臨床心理士、公認心理師、公務員、企業の社員などとして勤務できる水準にまで向上させようという意志を持っている人。

〔大学入学までに身につけておくべき主な科目の内容〕

高等学校における基礎的な学力・実技能力、又は、得意分野に関する優れた学力・実績を身につけていること。

#### 【国語】

基礎的な国語の知識や読解力、特に現代文の確かな読解力。口頭や文章でコミュニケーションをとるために思考力・表現力。

#### 【外国語（英語）】

基礎的な英語力。

#### 【地理歴史】

基礎的な世界史・日本史・地理の知識。

**【公民】**

基礎的な現代社会・倫理・政治経済の知識。

**【数学】**

基礎的な数学の知識。

**【専門学科（専門高校）】**

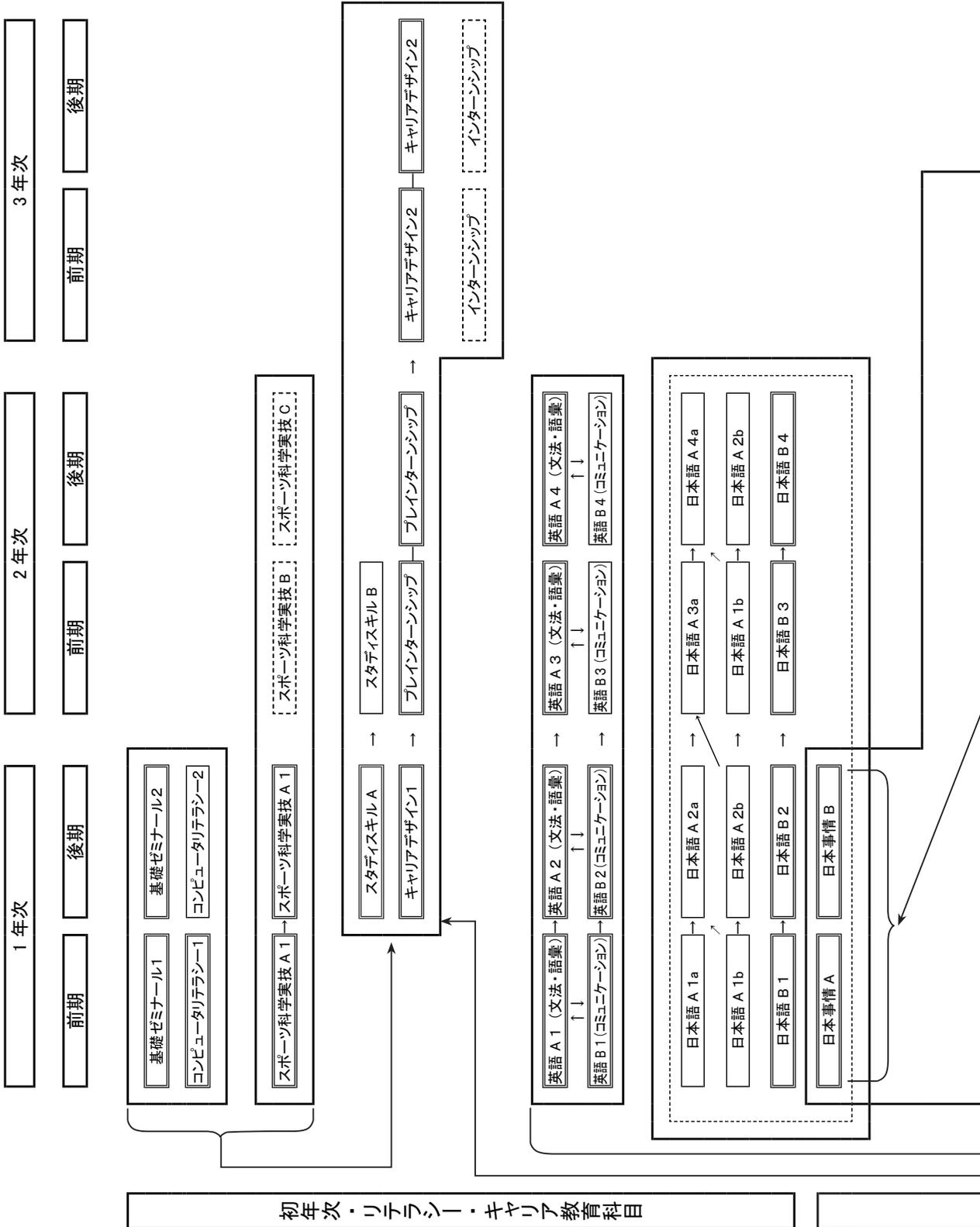
得意分野に関する優れた学力・実績。

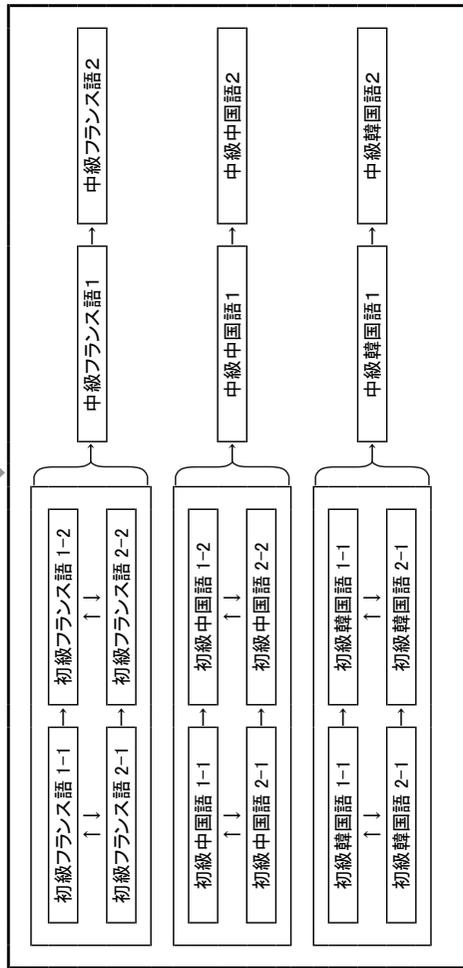
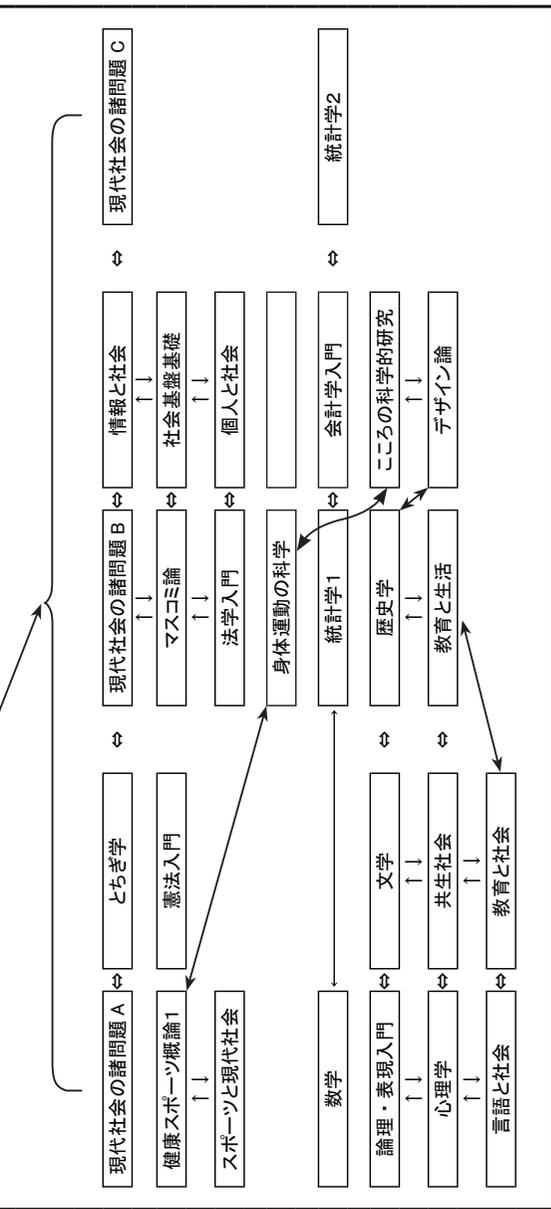
**【総合学科】**

得意分野に関する優れた学力・実績。

(4) 心理コミュニケーション学科：カリキュラム・ツリー

共通教育科目カリキュラム・ツリー

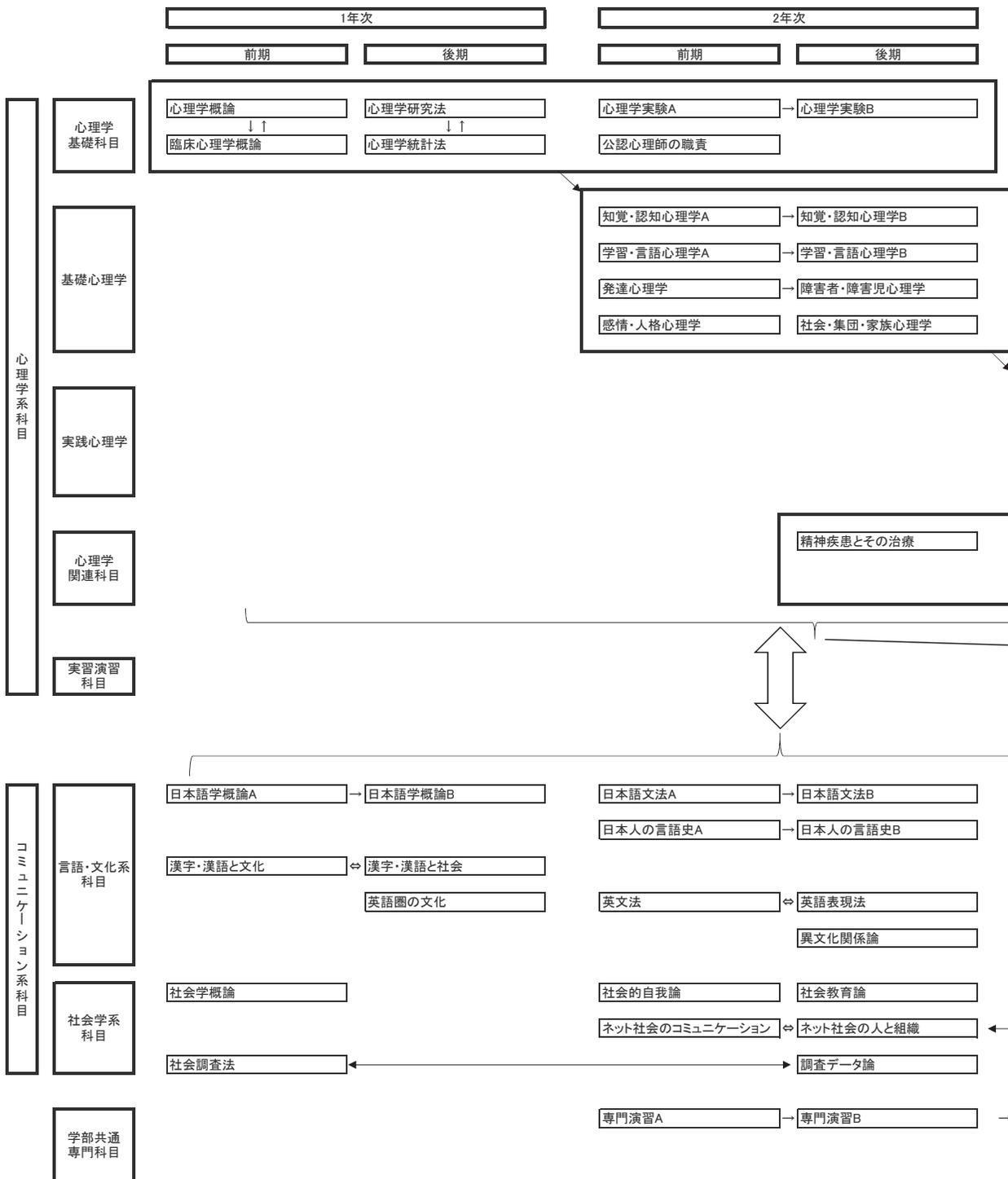


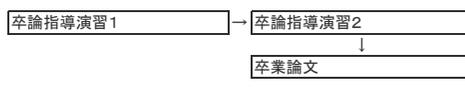
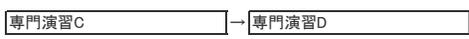
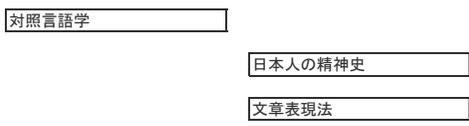
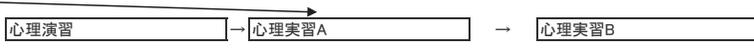
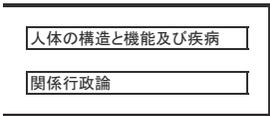
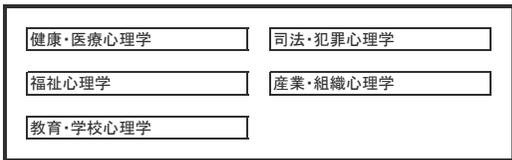
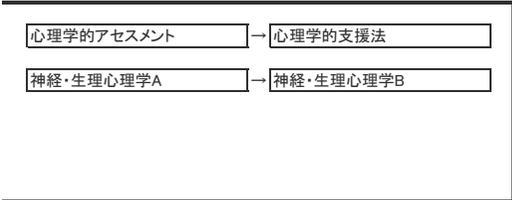


自主科目 A～F (1～4 どの学年でも半期の履修が可能)

海外研修 A～D (1～4 どの学年でも後期に条件が整っていた場合にのみ履修が可能)

心理コミュニケーション学科専門科目カリキュラム・ツリー





(5) 心理コミュニケーション学科：ナンバリングと学修成果マトリックス（カリキュラム・マップ）

共通教育科目マトリックス（カリキュラム・マップ）

		1年次																
		前期								後期								
		No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果								
1	2			3	4	1	2			3	4							
初期導入・リテラシー教育科目	留学生	ZA-ILB-11 1	基礎ゼミナール1	◎	◎	◎	◎	ZA-ILB-11 2	基礎ゼミナール2	◎	◎	◎	◎					
		ZA-ILI-11 1	コンピュータリテラシー1	○	○	◎	○	ZA-ILI-21 1	コンピュータリテラシー2	○	○	◎	○					
		ZA-ILS-11 1	スポーツ科学実技A1	○	○	○	○	ZA-ILS-11 2	スポーツ科学実技A2	○	○	○	○					
								ZA-ILC-11 1	スタディスキルA	◎	○	◎	○					
								ZA-ILC-11 2	キャリアデザイン1	◎	○	◎	◎					
		ZA-ILE-11 1	英語A1(文法・語彙)	◎	○	◎	○	ZA-ILE-11 3	英語A2(文法・語彙)	◎	○	◎	○					
		ZA-ILE-11 2	英語B1(コミュニケーション)	◎	○	◎	○	ZA-ILE-11 4	英語B2(コミュニケーション)	◎	○	◎	○					
		ZA-ILF-31 1a	日本語A1a	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2a	日本語A2a	◎	○	◎	○					
		ZA-ILF-31 1b	日本語A1b	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2b	日本語A2b	◎	○	◎	○					
ZA-ILF-11 1	日本語B1	◎	○	◎	○	ZA-ILF-11 2	日本語B2	◎	○	◎	○							
教養教育科目		ZA-LAJ-21 1	日本事情A(留学生必修)	○	◎	○	○	ZA-LAJ-21-2	日本事情B(留学生必修)	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 24	現代社会の諸問題A	○	◎	○	◎	ZA-LAA-21 25	現代社会の諸問題B	○	◎	○	◎					
		ZA-LAA-21 13	健康スポーツ概論	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 9	憲法入門	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 4	数学	○	◎	◎	○	ZA-LAA-21 3	歴史学	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 1	論理・表現入門	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 7	文学	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 2	心理学	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 18	共生社会	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 20	言語と社会	○	◎	○	○	ZA-LAA-21 21	教育と社会	○	◎	○	○					
		ZA-LAA-21 16	スポーツと現代社会	○	◎	○	○											
		ZA-LLF-21 1	初級フランス語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 3	初級フランス語1-2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLF-21 2	初級フランス語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLF-21 4	初級フランス語2-2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLC-21 1	初級中国語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 3	初級中国語1ー2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLC-21 2	初級中国語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLC-21 4	初級中国語2ー2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLK-21 1	初級韓国語1ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 3	初級韓国語1ー2	◎	○	◎	○					
		ZA-LLK-21 2	初級韓国語2ー1	◎	○	◎	○	ZA-LLK-21 4	初級韓国語2ー2	◎	○	◎	○					
			ZA-LAI-21 F1	自主科目A※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F4	海外研修A※	◎	○	◎	◎				
			ZA-LAI-22 F2	自主科目B※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-23 F5	海外研修B※	◎	○	◎	◎				
			ZA-LAI-23 F3	自主科目C※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F6	海外研修C※	◎	○	◎	◎				
			ZA-LAI-23 F8	自主科目D※	◎	○	◎	○	ZA-LAI-24 F7	海外研修D※	◎	○	◎	◎				
			ZA-LAI-23 F9	自主科目E※	◎	○	◎	○										
			ZA-LAI-23 F10	自主科目F※	◎	○	◎	○										

		3年次															
		前期								後期							
		No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果							
1	2			3	4	1	2			3	4						
初・リ科目	教養教育科目	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎	ZA-ILI-13 1	キャリアデザイン2	◎	○	◎	◎				
		ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎	ZA-ILI-23 1	インターンシップ	◎	◎	◎	◎				
		ZA-LAA-21 6	統計学2	◎	○	◎	◎										
		ZA-LAA-21 26	現代社会の諸問題C	○	◎	○	◎										



心理コミュニケーション学科専門科目マトリックス (カリキュラム・マップ)

		1年次									
		前期				後期					
	No.	科目	学修成果				No.	科目			
			1	2	3	4					
心理学系 科目	心理学 基礎科目	HP-HPP-11 1	心理学概論	○	◎	○	○	HP-HPP-21 3	心理学研究法		
		HP-HPP-11 2	臨床心理学概論	○	◎	○	○	HP-HPP-21 4	心理学統計法		
	基礎心理学										
	実践心理学										
	心理学 関連科目										
実習演習 科目											
コミュニケー ション系 科目	言語・文化系 科目	HP-HPC-21 1	日本語学概論A	○	◎	○	○	HP-HPC-21 7	日本語学概論B		
		HP-HPC-21 6	漢字・漢語と社会	○	◎	○	○	HP-HPC-21 10	漢字・漢語と文化		
								HP-HPC-21 9	英語圏の文化		
	社会学系 科目	HP-HPC-21 4	社会学概論	○	◎	○	○				
		HP-HPC-21 5	社会調査法	○	◎	◎	○				
学部共通 専門科目											

		3年次									
		前期				後期					
	No.	科目	学修成果				No.	科目			
			1	2	3	4					
心理学系 科目	心理学 基礎科目										
	基礎心理学	HP-HPP-22 9	心理学的アセスメント	○	◎	◎	○	HP-HPP-22 16	心理学的支援法		
		HP-HPP-22 7	神経・生理心理学A	○	◎	◎	○	HP-HPP-22 13	神経・生理心理学B		
	実践心理学	HP-HPP-23 1	健康・医療心理学	○	◎	○	○	HP-HPP-23 6	司法・犯罪心理学		
		HP-HPP-23 2	福祉心理学	○	◎	◎	◎	HP-HPP-23 7	産業・組織心理学		
心理学 関連科目	HP-HPP-23 3	教育・学校心理学	○	◎	◎	◎					
実習演習 科目	HP-HPP-22 10	人体の構造と機能及び疾病	○	◎	◎	○					
	HP-HPP-23 4	関係行政論	○	◎	◎	◎					
	HP-HPP-23 5	心理演習	◎	◎	◎	◎	HP-HPP-23 8	心理実習A			
コミュニケー ション系 科目	言語・文化系 科目	HP-HPC-22 1	対照言語学	○	◎	◎	○	HP-HPC-22 5	日本人の精神史		
								HP-HPC-22 6	文章表現法		
	社会学系 科目							HP-HPC-22 10	地域情報論		
	学部共通 専門科目	HP-HAL-13 1	専門演習C	◎	○	◎	○	HP-HAL-13 2	専門演習D		

2年次															
	前期						後期								
学修成果				No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果			
1	2	3	4			1	2	3	4			1	2	3	4
○	◎	○	○	HP-HPP-22 1	心理学実験A	○	◎	◎	◎	HP-HPP-22 3	心理学実験B	○	◎	◎	◎
○	◎	◎	○	HP-HPP-22 2	公認心理師の職責	○	◎	○	◎						
				HP-HPP-22 4	知覚・認知心理学A	○	◎	○	◎	HP-HPP-22 11	知覚・認知心理学B	○	◎	○	◎
				HP-HPP-22 5	学修・言語心理学A	○	◎	○	◎	HP-HPP-22 12	学修・言語心理学B	○	◎	○	◎
				HP-HPP-22 8	発達心理学	○	◎	○	◎	HP-HPP-22 15	障害者・障害児心理学	○	◎	○	◎
				HP-HPP-22 6	感情・人格心理学	○	◎	○	◎	HP-HPP-22 14	社会・集団・家族心理学	○	◎	○	◎
										HP-HPP-22 17	精神疾患とその治療	○	◎	○	◎
○	◎	○	○	HP-HPC-21 2	日本語文法A	○	◎	◎	◎	HP-HPC-21 8	日本語文法B	○	◎	◎	◎
○	◎	○	○	HP-HPC-22 4	日本人の言語史A	○	◎	○	◎	HP-HPC-22 8	日本人の言語史B	○	◎	○	◎
○	◎	○	○	HP-HPC-21 3	英文法	○	◎	◎	◎	HP-HPC-22 9	英語表現法	○	◎	◎	◎
										HP-HPC-22 7	異文化関係論	○	◎	○	◎
				HP-HPC-22 2	社会的自我論	○	◎	◎	◎	HP-HPC-22 13	社会教育論	○	◎	○	◎
				HP-HPC-22 3	ネット社会のコミュニケーション	○	◎	○	◎	HP-HPC-22 11	ネット社会の人と組織	○	◎	○	◎
											調査データ論	○	◎	◎	◎
				HP-HAL-12 1	専門演習A	◎	○	◎	◎	HP-HAL-12 2	専門演習B	◎	○	◎	◎

4年次															
	前期						後期								
学修成果				No.	科目	学修成果				No.	科目	学修成果			
1	2	3	4			1	2	3	4			1	2	3	4
○	◎	◎	◎												
○	◎	○	○												
○	◎	○	○												
○	◎	○	◎												
◎	◎	◎	◎	HP-HPP-24 1	心理実習B	◎	◎	◎	◎						
○	◎	○	○												
○	◎	◎	◎												
○	◎	○	◎												
◎	○	◎	○	HP-HAL-14 1	卒論指導演習1	◎	◎	◎	◎	HP-HAL-14 2	卒論指導演習2	◎	◎	◎	◎
										HP-HAL-14 3	卒業論文	◎	◎	◎	◎

- 1 ディプロマポリシー①③ 自律学習能力
- 2 ディプロマポリシー② 専門知識・技術
- 3 ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力
- 4 ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性

(6) 心理コミュニケーション学科：学修成果マトリックスについて

【ナンバリング・学修成果マトリックス〈付〉ナンバリングの概要（見方）について】  
ナンバリングの概要（見方）について

●開講科目 ナンバリングコード 凡例

A B - CDE - 12 3

① ② ③ ④ ⑤ ※⑤については二けた数字になる場合もある

コードの意味：

①授業開設単位 ← 学部 経営B 人文H 全学共通教育科目Z

②学科 ← 経営B スポーツマネジメントS / 発達教育D 心理コミュニケーションP

③学問分野 例 学部共通BA/HA 学科共通BBA

④性格・レベル 性格 必修1・選択2・選択必修3 レベルは標準履修開始年次

⑤分類番号 ← (便宜的に) 推奨履修順

●経営学部 ナンバリング コード例

経営学科

BB-BAL-111 例 学部共通 経営学総論A 必修 1年 1

BB-BAL-311 例 学部共通 生涯スポーツ論 選択必修 1年 1

BB-BBA-221 例 学科共通 企業経営史 選択 2年 1

BB-BBM-221 例 ビジネスマネジメント分野 経営管理論B 選択 2年 1

BB-BFI-231 例 会計・情報マネジメント分野 税法 選択 3年 1

BB-BCM-111 例 コミュニティマネジメント分野 地域福祉論 3年 1

BB-BRS-121 例 研究ゼミナール 研究ゼミナール1 必修 2年 1

スポーツマネジメント学科

BS-BAL-111 例 学部共通 経営学総論A 必修 1年 1

BS-SSM-111 例 スポーツマネジメント科目 スポーツマネジメント論 必修 1年 1

BS-SSM-231 例 スポーツマネジメント科目 スポーツ施設管理 選択 3年 1

BS-SRS-121 例 研究ゼミナール 研究ゼミナール1 必修 2年 1

BS-SOP-221 例 卒業所要単位外科目 測定評価実習 選択 2年 1

●人間文化学部 ナンバリング コード例

HD-HAL-121 例 学部共通 専門演習A 必修 2年 1

HP-HAL-131 例 学部共通 専門演習C 必修 3年 1

HD-DEL-111 例 発達 初等教育専門科目 教職論(小・中・高) 必修 1年 1

HD-DSE-221 例 発達 特別支援教育専門科目 知的障害児・者心理学 選択 2年 1

HD-DHI-111 例 発達 中等教育専門科目 日本語学概論A 必修 1年 1

HD-DJH-241 例 発達 中等教育専門科目 中学校教育実習 選択 4年 1

※DJHコードは実質1科目しかない。

HP-HPP-111 例 心理コミュ 心理学系科目 心理学概論 必修 1年 1

HP-HPC-211 例 心理コミュ コミュニケーション系科目 日本語学概論 選択

●共通教育科目 ナンバリング コード例

ZA=全学共通教育科目

IL 初年次・リテラシー・キャリア教育科目

ILB 初年次教育科目 例 基礎ゼミナール1-1 ZA-ILB-111 Basic

ILE リテラシー教育科目 例 英語A1 ZA-ILE-111 Englishi

ILF リテラシー教育科目 例 日本語A1※ ZA-ILF-111 Foreign student

ILI リテラシー教育科目 例 コンピュータリテラシー1 ZA-ILI-111 ICT

ILS リテラシー教育科目 例 スポーツ科学実技A1 ZA-ILS-111 Sports

ILC キャリア教育科目 例 スタディスキルA ZA-ILC-111 Career

LA 教養教育科目

LAA 教養教育科目 例 心理学 ZA-LAA-212 Liberal arts all

LAJ 教養教育科目 例 日本事情A ZA-LAJ-211 Japan

LLF 教養教育科目 例 第二外国語 初級フランス語1-1 ZA-LLF-211 French

LLC 教養教育科目 例 第二外国語 初級中国語1-1 ZA-LLC-211 Chinese

LLK 教養教育科目 例 第二外国語 初級韓国語1-1 ZA-LLK-211 Korea

LAI 教養教育科目 例 自主科目・海外研修/自主科目A ZA-LAI-211 independent

BBT 経営学部経営学科商業免許関連科目 T=teacher

例 教職論(商) BB-BBT-111

教職実践研究(商) BB-BBT-231

(7) 心理コミュニケーション学科：適正な成績管理

【評価ルーブリックについて】

心理コミュニケーション学科 ディプロマポリシー ルーブリック

	優秀 (excellent)	平均 (average)
ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の修得	履修単位数の上限 (22単位) の9割以上を履修し単位取得している。	履修単位数の上限 (22単位) の8割以上を履修し単位取得している。
ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の修得	専門教育科目の中から、心理学系科目を6割以上履修し、学部卒段階での公認心理師受験資格を得ている。	心理学系科目とコミュニケーション系科目を自分の興味関心に沿ってバランスよく履修し単位を修得している。
ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の修得	基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績が平均して「優」 (GP3) 以上	基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績が平均して「良」 (GP2) 以上
ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得	卒業後の進路 (就労・進学など) が決定している。累積GPA3.0以上。	卒業後の進路 (就労・進学など) が決定している。累積GPA1.5以上3.0未満。

途上 (developing)	未達 (unachieved)
履修単位数の上限 (22単位) の7割以上を履修し単位取得している。	履修単位数の上限 (22単位) の7割未満しか単位取得できていない。
心理学系科目とコミュニケーション系科目をあまり計画性がないまま履修し単位を修得している。	心理学系科目とコミュニケーション系科目の履修が不十分
基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績が平均して「可」から「良」 (GP 1~2)	基礎ゼミ・専門ゼミ (専門演習) ・卒業論文 (卒業研究) の成績に「可」「不可」が多い。
卒業後の進路 (就労・進路など) を模索中。累積GPA1.0以上3.0未満。	卒業に至らず。累積GPA1.0未満

## (8) 心理コミュニケーション学科：GPAの算出と活用

成績表に表示されている GPA の見方について

作新学院大学では、成績表に GPA (Grade Point Average) の表示をしています。これは、学生一人ひとりの成績を以下に示す規則に沿ってスコア化するものです。本学ではこのスコアを履修指導の資料のほか、成績優秀者の表彰などの資料として利用しています。

### GPA 制度

GPA は次のようにして求めます。

最初に、下の表に従って、各科目の成績に応じたグレードポイント (Grade Point : 以下「GP」という) を出します。

成績	GP
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可 (無資格・試験欠席を含む)	0

そして、各科目の単位数を掛けて足した合計点を履修登録単位の総数で割ったものが GPA です。具体的には、下のようになります。

【例】	授業科目	(単位数)	評価	GP	単位	ポイント数
	基礎ゼミナール1	(2単位)	優	3	× 2	= 6
	英語 A1	(1単位)	良	2	× 1	= 2
	英語 B1	(1単位)	秀	4	× 1	= 4
	コンピュータリテラシー1	(2単位)	不可	0	× 2	= 0
	合計	6単位				12

$$\text{GPA} = \text{②} \div \text{①} = 12 \div 6 = \underline{2.0}$$

したがって、履修した全ての科目が「秀」の人の GPA は 4 ですし、履修した全ての科目が「不可」だった場合の GPA は 0 です。なお、GPA には平均をとる期間により、「学期 GPA」(当該学期の成績で計算した GPA)、「通算 GPA」(当該学期までの全成績で計算した GPA) の 2 種類があります。また、「不可」も GP=0 として算入されることに注意してください。

## 【GPA の分布/GPA の分布（前年度データ）】

ホームページに GPA の分布が掲載されています

<https://www.sakushin-u.ac.jp/disclosure/page.php?id=577>

本学 HP トップページ > 情報公開 > 教育情報の公表（大学） > ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること（第 6 号関係） > GPA の分布



(9) 心理コミュニケーション学科：学修成果の可視化

## 【ディプロマ・サプリメントについて】

ディプロマ・サプリメントとは

ディプロマ・サプリメントとは、個々の学生が卒業段階で身につけた学位・資格等の学修内容について証明される学位証明書補助資料のことである。



〈資料編〉 学則 履修規程 その他の資料



## ■ 10 〈資料編〉学則 履修規程 その他の資料

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 学内情報サービス TECMIN—テクミン— (web 情報サービス) では、学生の履修に必要な様々な資料が掲載されています。(ID とパスワードが必要です)

- (1) 大学学則 【QR コード】
- (2) 経営学部履修規程. 〈経営学部履修規程 (別表)〉【QR コード】
- (3) 人間文化学部履修規程 〈人間文化学部履修規程 (別表)〉【QR コード】

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 学内情報サービス TECMIN—テクミン— (web 情報サービス)

<https://nc.sakushin-u.ac.jp/>





改訂履歴

第1版 発行日 令和3年4月1日

第2版 発行日 令和5年4月1日

作新学院大学 履修要項 (別冊)

〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町 908

TEL 028-667-7111 (代) FAX 028-667-7110

URL <https://www.sakushin-u.ac.jp/>

発行日 令和6年4月1日